

令和8年度

鹿児島県公立高等学校

入学者選抜学力検査結果の概要

この資料は、公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要をまとめたもので、受検者の学力の状況について、先生方や県民の皆さんに理解していただくために作成したものです。

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

鹿児島県教育委員会

目 次

はじめに	1
1 第一次入学者選抜の状況について	1
2 総得点について	2
(1) 受検者の得点分布	
(2) 受検者（400点以上・360点以上・100点未満）、 合格者（100点未満）の年度別推移	
3 各教科の平均点等について	3
(1) 各教科の平均点	
(2) 受検者の平均点の年度別推移	
(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ	
4 目安点をめぐる状況について	5
(1) 目安点未満の人数推移（過去5年間）	
(2) 目安点未満の地区別状況（出身中学校所在地区別）	
(3) 過去5年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況	
5 今年の特徴的な問題	7
(1) 国語における特徴的な問題	
(2) 社会における特徴的な問題	
(3) 数学における特徴的な問題	
(4) 理科における特徴的な問題	
(5) 英語における特徴的な問題	
6 国語について	12
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（国語）	
(2) 国語の問題	
(3) 国語の解答例	
7 社会について	16
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（社会）	
(2) 社会の問題	
(3) 社会の解答例	
8 数学について	24
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（数学）	
(2) 数学の問題	
(3) 数学の解答例	
9 理科について	31
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（理科）	
(2) 理科の問題	
(3) 理科の解答例	
10 英語について	38
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（英語）	
(2) 英語の問題	
(3) 英語の解答例	

はじめに

令和8年3月4日、5日に、公立高等学校入学者選抜学力検査を実施しました。

検査問題の出題にあたっては、学習指導要領に示された目標に則し、小学校から中学校（義務教育学校後期課程）までに習得した知識・技能及びこれらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力が検査できるように留意したところです。

この冊子では、公立高等学校への出願状況等や学力検査の得点などについて集計した結果に加え、「今年の特徴的な問題」で、各教科の「問題のねらい」や「指導上のポイント」を紹介しています。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

1 第一次入学者選抜の状況について（推薦入学者選抜等に係る人数を含む。）

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計	
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計			
募集 定員	8年度	5,852	760	1,800	1,960	520	718	11,610	84	11,694
	7年度	5,883	760	1,800	1,960	520	718	11,641	84	11,725
出願 者数	8年度	5,231	378	1,421	1,397	422	357	9,206	46	9,252
	7年度	5,347	384	1,579	1,576	424	383	9,693	60	9,753
受検 者数	8年度	5,054	367	1,373	1,361	413	354	8,922	44	8,966
	7年度	5,149	375	1,546	1,536	419	371	9,396	57	9,453
合格 者数	8年度	4,538	341	1,323	1,323	392	342	8,259	42	8,301
	7年度	4,750	371	1,473	1,445	412	370	8,821	54	8,875
受検 倍率	8年度	0.86	0.48	0.76	0.69	0.79	0.49	0.77	0.52	0.77
	7年度	0.88	0.49	0.86	0.78	0.81	0.52	0.81	0.68	0.81

- ・ 開陽高校の第3回・第4回入学者選抜に係る人数を含まない。
- ・ 普通には、普通科、ミライデザイン科、理数科、文理科学科、文理科、情報科学科、体育科、音楽科、美術科、スポーツ健康科、アスリートスポーツ科が含まれる。
- ・ 受検倍率は、（受検者数）÷（募集定員）として算出している。

（参考）推薦入学者選抜、連携型中高一貫教育校入学者選抜及び帰国生徒等特別入学者選抜の状況

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
出願者数	718	43	297	270	84	39	1,451	10	1,461
受検者数	713	43	297	267	83	39	1,442	10	1,452
合格者数	588	41	256	257	77	39	1,258	8	1,266

（参考）第二次入学者選抜の状況

課程 学科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
募集定員	1,299	419	477	637	128	362	3,322	34	3,356
出願者数	48	17	8	28	6	9	116	3	119
受検者数	48	17	8	28	6	9	116	3	119
合格者数	46	6	7	15	4	6	84	3	87

2 総得点について(全日制, 定時制合計)

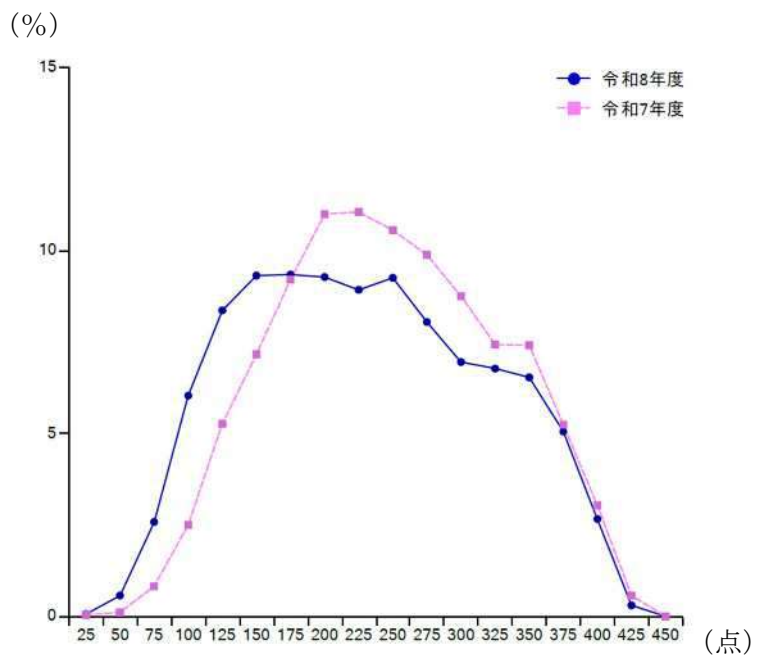
※ この項以降のデータは、すべて学力検査受検者についてである。

(1) 受検者の得点分布 (%)

- 平均点は前年度に比べて 18.3 点下がった。

令和 8 年度 216.3

令和 7 年度 234.6



得 点 分 布																			平均点
0	25	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	
0.1	0.6	2.6	6.0	8.4	9.3	9.3	9.3	8.9	9.3	8.0	7.0	6.8	6.5	5.1	2.7	0.3	0.0	216.3	

※ 得点分布は%で示している。

(2) 受検者(400点以上・360点以上・100点未満), 合格者(100点未満)の年度別推移

年 度	受 検 者								合 格 者			
	受 検 者 数	400点 以上の 人 数	400点 以上の 割合(%)	360点 以上の 人 数	360点 以上の 割合(%)	100点 未満の 人 数	100点 未満の 割合(%)	合 格 者 数	100点 未満の 人 数	100点 未満の 割合(%)	100点未満 の受検者に 対する割合 (%)	
	A	B	$\frac{B}{A} \times 100$	C	$\frac{C}{A} \times 100$	D	$\frac{D}{A} \times 100$	E	F	$\frac{F}{E} \times 100$	$\frac{F}{D} \times 100$	
8	7,719	23	0.30	449	5.82	712	9.22	7,030	556	7.91	78.09	
7	8,213	47	0.57	537	6.54	284	3.46	7,616	215	2.82	75.70	
6	8,957	24	0.27	593	6.62	308	3.44	8,279	223	2.69	72.40	
5	8,735	98	1.12	871	9.97	331	3.79	8,216	271	3.30	81.87	
4	8,873	86	0.97	754	8.50	302	3.40	8,165	241	2.95	79.80	
3	8,798	122	1.39	977	11.10	413	4.69	8,144	342	4.20	82.81	

3 各教科の平均点等について（全日制，定時制合計）

(1) 各教科の平均点

区分	課程・学科	総得点	国語	社会	数学	理科	英語	
受検者	全日制	普通系	261.5	52.6	56.6	45.8	54.3	52.2
		職業系	154.2	36.2	33.4	24.3	30.1	30.2
		計	216.8	45.8	47.0	36.8	44.2	43.0
	定時制	99.6	27.3	23.6	11.7	16.1	20.8	
	全定計	216.3	45.7	46.9	36.7	44.1	42.9	
合格者	全日制	普通系	259.0	52.6	56.0	45.1	53.5	51.8
		職業系	158.5	37.1	34.4	25.0	31.0	30.9
		計	215.1	45.8	46.6	36.4	43.7	42.7
	定時制	102.8	28.3	24.6	12.2	16.6	21.2	
	全定計	214.6	45.7	46.5	36.2	43.5	42.6	

※ 普通には、普通科、ミライデザイン科、理数科、文理科学科、文理科、情報科学科、体育科、音楽科、美術科、スポーツ健康科、アスリートスポーツ科が含まれる。専門には、総合学科が含まれる。

(2) 受検者の平均点の年度別推移

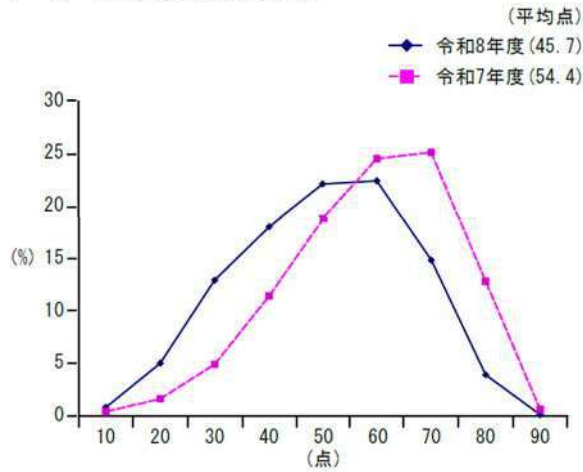
年度	総得点	国語	社会	数学	理科	英語
8	216.3	45.7	46.9	36.7	44.1	42.9
7	234.6	54.4	50.6	38.9	48.7	41.8
6	240.0	54.9	49.4	43.8	48.8	43.2
5	247.1	51.1	51.5	47.0	50.1	47.4
4	243.5	57.8	53.1	39.0	53.9	39.6
3	248.5	50.4	51.2	47.3	47.5	52.1

(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ

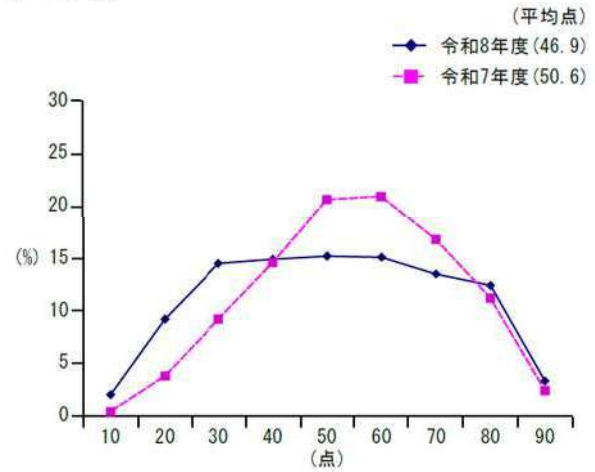
教科	得点分布								
	0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	81~90
国語	0.8	5.0	12.9	18.0	22.1	22.4	14.8	3.9	0.1
社会	2.0	9.2	14.5	14.9	15.2	15.1	13.5	12.4	3.3
数学	8.0	17.0	16.7	15.3	16.0	13.9	10.0	2.8	0.4
理科	3.4	11.5	15.8	16.8	14.4	13.0	10.7	9.6	4.7
英語	1.0	11.4	20.3	18.0	14.8	12.5	10.4	8.3	3.3

※ 得点分布は%で示している。

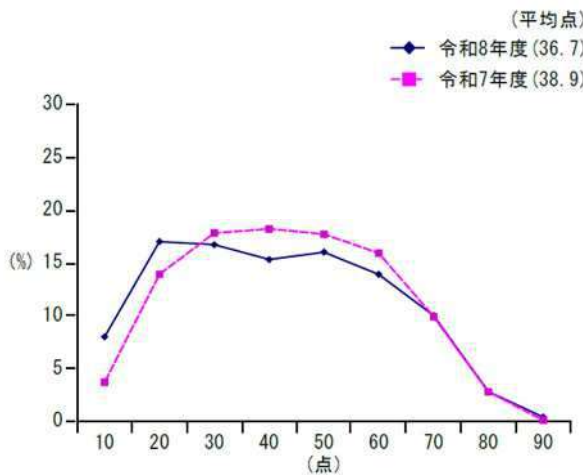
ア 国語（全定を含めた分布）



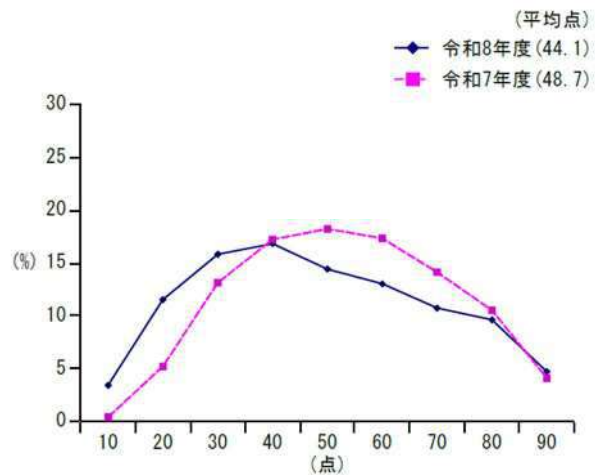
イ 社会



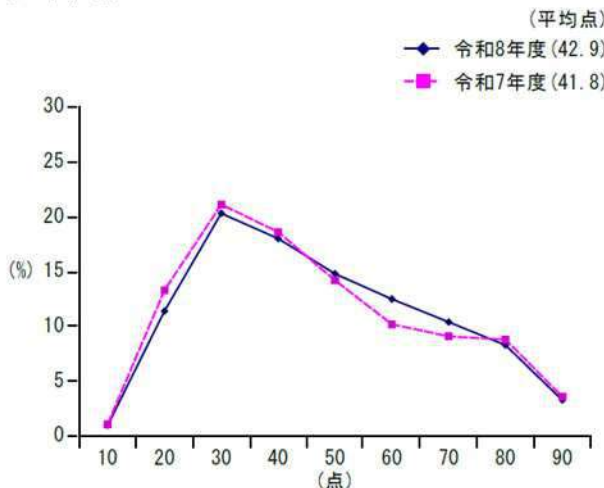
ウ 数学



エ 理科



オ 英語



4 目安点をめぐる状況について

(1) 目安点未満の人数推移（過去5年間）

単位 人

教科等	年度	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
国語		293(3.8%)	107(1.3%)	115(1.3%)	214(2.4%)	86(1.0%)
社会		583(7.6%)	196(2.4%)	328(3.7%)	385(4.4%)	388(4.4%)
数学		1,531(19.8%)	1,054(12.8%)	504(5.6%)	560(6.4%)	1,147(12.9%)
理科		829(10.7%)	250(3.0%)	490(5.5%)	294(3.4%)	131(1.5%)
英語		592(7.7%)	724(8.8%)	714(8.0%)	411(4.7%)	879(9.9%)
5教科総点が目安点未満の人数		500(6.5%)	179(2.2%)	211(2.4%)	212(2.4%)	207(2.3%)
目安点未満の教科を1教科以上持つ実人数		1,897(24.6%)	1,425(17.4%)	1,164(13.0%)	1,026(11.7%)	1,645(18.5%)
受検者総数		7,719	8,213	8,957	8,735	8,873

※ 目安点は、基礎的内容の設問の合計点であり、国語・社会・数学・理科においては、小学校教材及びその関連教材の内容を含んでいる。

(2) 目安点未満の地区別状況（出身中学校所在地区別）

地区	目安点 受検者	国語	社会	数学	理科	英語	総得点(目安点:90点)		
		18点	18点	18点	18点	18点	R8	R7	R6
鹿児島	2,969 人	3.0 %	5.2 %	13.0 %	8.1 %	5.7 %	4.9 %	1.3 %	1.9 %
南薩	561 人	4.8 %	9.6 %	26.6 %	11.9 %	11.4 %	8.9 %	3.5 %	2.6 %
北薩	991 人	4.0 %	9.5 %	26.0 %	11.9 %	9.0 %	7.6 %	3.2 %	2.9 %
始良・伊佐	1,316 人	3.8 %	8.1 %	20.1 %	11.4 %	7.7 %	6.0 %	1.9 %	2.0 %
大隅	852 人	5.9 %	12.1 %	26.6 %	16.8 %	10.7 %	10.4 %	2.8 %	3.0 %
熊毛	228 人	2.6 %	10.1 %	28.5 %	10.5 %	8.3 %	6.6 %	2.2 %	0.9 %
大島	584 人	4.8 %	7.7 %	29.1 %	13.7 %	9.8 %	7.7 %	4.1 %	4.8 %
県全体	7,719 人	3.8 %	7.6 %	19.8 %	10.7 %	7.7 %	6.5 %	2.2 %	2.4 %

※ 鹿大教育学部附属中学校、私立中学校等からの受検者数 218 人については、地区別人数に含まない。

(3) 過去5年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況

【国語】

年 度	令和8年度		令和7年度		令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	抑揚	預(ける)	車窓	遮(る)	負荷	嗅覚	廃(れる)	陶醉	怠(る)	頒布	固唾	嫉妬	浸(る)
誤答者数 (人)	2,516	162	3,485	945	1,487	582	4,308	4,521	1,836	5,176	4,525	80	1,012
割 合 (%)	32.6	2.1	42.4	11.5	16.6	6.5	48.1	51.7	21.0	59.2	51.0	0.9	11.4

年 度	令和8年度		令和7年度		令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	漁船	敬(う)	研究	幼(い)	唱(える)	温厚	忠誠	浴(びる)	警告	風潮	粉薬	裁(く)	鉞脈
誤答者数 (人)	2,424	2,725	1,792	995	2,544	4,550	5,132	1,793	2,378	4,031	772	1,216	3,256
割 合 (%)	31.4	35.3	21.8	12.1	28.4	50.8	57.3	20.5	27.2	46.1	8.7	13.7	36.7

【数 学】

年 度	令和8年度		令和7年度		令和6年度	
	計算式	誤答者数 (人)	計算式	誤答者数 (人)	計算式	誤答者数 (人)
	$13-2\times 4$	139	$7/8\div 3/4-1/3$	633	$7+18\div 3$	156
					$3/5-1/6\times 4/5$	903
					$41-7\times 5$	197
					$3/4\div 9/8+1/2$	743
割 合 (%)	1.8		8.2		1.9	
					11.0	
						2.2
						8.3

年 度	令和5年度		令和4年度	
	計算式	誤答者数 (人)	計算式	誤答者数 (人)
	$63\div 9-2$	218	$(1/2-1/5)\times 1/3$	690
			$4\times 8-5$	284
			$1/2+7/9\div 7/3$	444
割 合 (%)	2.5		3.2	
				5.0

5 今年の特徴的な問題

(1) 国語における特徴的な問題

25 次は、この文章を読んだあとの、先生と山田さんたちの会話です。□□□□に入る内容を、八十字以内で補い、会話を完成させなさい。

(中略)

原口さん 「(前略) 物語を読むことには、旅と同じような効果があると述べていたね。」

山田さん 「つまり筆者は、□□□□と考えているんだね。」

先生 「比喩が用いられていることで、筆者の考えがよりわかりやすく理解できましたね。」

[問題のねらい]

- 説明的な文章において、表現の効果に着目し、文章の内容を正確に理解する力をみました。

[指導上のポイント]

- 説明的な文章においては、論理の展開や内容を捉えるために、表現の効果にも着目することが必要です。表現の技法を理解することとの関連を図りながら、根拠を明確にして考えることが重要となります。

比喩などの表現の仕方が、文章の内容や書き手の考えを正確に伝える上でどのような効果を上げているかを根拠に基づいて判断し、その意味などについて考え、評価することが求められています。

52 ——— 線部②の小川さんの発言を受けて用意した資料として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

[問題のねらい]

- 伝えたい内容を適切に伝えるためには、どのような資料を用いることが有効か判断する力をみました。

[指導上のポイント]

- 「話すこと・聞くこと」の学習においては、異なる立場や考えの聞き手に自分の考えを伝えるために、根拠となる情報を幅広く収集することが重要です。指導に当たっては、情報の扱い方に関する事項との関連を図りながら、発展的に学習することが望まれます。学校図書館を有効に活用するとともに、本や新聞、インターネットなどの様々な媒体を、それぞれの特性に踏まえて活用し、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することが求められています。

(2) 社会における特徴的な問題

1 2 B班は、千葉県、山梨県、兵庫県における製造品出荷額等と農業産出額、平均標高について調べ、資料1にまとめました。資料1のZにあてはまる県を、解答用紙の略地図中に//////で、示しなさい。

資料1

県	製造品出荷額等 (億円) 2022年	農業産出額 (億円) 2022年	平均 標高 (m)
X	29,047	1,164	995
Y	183,403	1,583	266
Z	158,925	3,676	45

(「データでみる県勢2025」などから作成)

[問題のねらい]

- 地理分野においては、学習において、地方ごとに、農業、工業などその特徴について学びます。その学びを比較することで学習内容をより深めることができます。この問題では、工業と農業、標高という複数の情報を総合して県を判別し、さらに地図上での位置を正しく理解しているかをみました。

[指導上のポイント]

- 地理の学習では、地方や分野ごとに学んだ内容を、分野を超えた総合的な視点で理解することを通して概念的な理解ができるような指導が必要です。地形的特徴や工業、農業に関する学習は、それぞれの日本の地方ごとに学んでいます。地誌的な学習の枠組みは、あくまで学習しやすいように便宜的に分けられているもので、それぞれの学びを、比較することで、多角的・多面的に捉え、総合的な概念として把握できるようにする必要があります。授業では、単元の学習の際に、既習事項を紹介したり、比較したりすることで、より理解が深められるよう工夫が必要です。

2 6 ⑥以降におこったできごとに関する資料を、次から三つ選び、そのできごとがおこった年代の古い順に並べなさい。

ア	イ	ウ	エ
			
温室効果ガス削減に向け採択されたパリ協定	冷戦の終結が宣言されたマルタ会議	平和10原則が決議されたアジア・アフリカ会議	日本と中国との間で締結された日中平和友好条約

[問題のねらい]

- 歴史分野における現代史は、生徒にとって最も身近な歴史的事象が含まれており、現代社会の諸問題の要因等を考えていく上でも非常に重要です。また、現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することも非常に重要です。この問題では、1970年代以降の日本や世界の動向について、正しく理解しているかをみました。

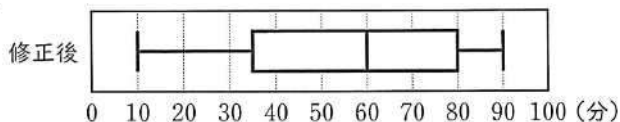
[指導上のポイント]

- 歴史分野では、「どのような時代だったのか」、「どのような影響を与えたのか」、「前の時代とどのように変わったのか」等の視点に着目して考えたり、表現したりすることを意識させた学習の指導が大切です。また、現代社会における諸問題を考える上で、歴史的事象がどのような影響を与えたのかを学習し、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察し、表現できるよう指導していく必要があります。授業では、現代の社会の様子と関連付けながら、学習を進められるような工夫が必要です。

(3) 数学における特徴的な問題

- 3 (3) 表のJさん以外の9人のデータのうち、ある1人のデータを、追加でアンケートを実施したKさんのデータと入れ替えました。入れ替え後の9人のデータを箱ひげ図に表すと、図4のようになりました。このとき、誰のデータと入れ替えたかを答えなさい。また、Kさんのデータの値を求めなさい。

図4



[問題のねらい]

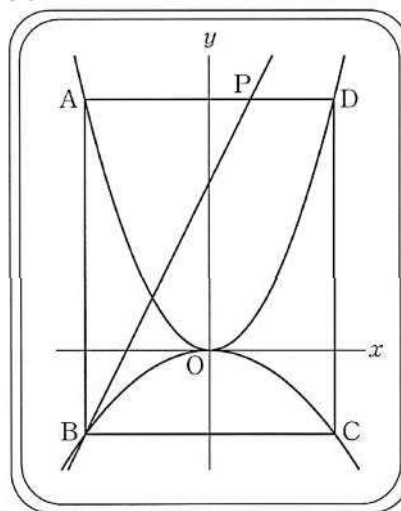
- 急速に発展しつつある情報化社会においては、確定的な答えを導くことが困難な事柄についても、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断することが求められます。日常生活においては、不確定な事象についてデータに基づいて判断する場面が多いので、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断する技能をみる問題を出題しました。

[指導上のポイント]

- 日常生活の具体的な場面と関連付けてデータを扱う活動を通して、根拠に基づく意思決定の重要性を理解し、主体的に判断し行動する態度を高めることが大切です。

- 4 3 先生は、図2のように図1の画面上に点Bを通り、辺ADと交わる1次関数のグラフを重ねて表示しました。この1次関数のグラフと辺ADとの交点をPとします。△ABPの面積が長方形ABCDの面積の $\frac{1}{3}$ になるとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

図2 タブレット端末の画面



- (1) 点Aのx座標が-6のとき、直線BPの式を求めなさい。

- (2) 直線BPの傾きが9になるとき、点Aの座標を求めなさい。

[問題のねらい]

- 一次関数や関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴などの関数の性質の理解をみる問題を出題しました。また、三角形の性質の理解をみました。
- 関数関係に着目し、その特徴を式やグラフと相互に関連付けながら考察することができるかの思考力・判断力をみました。

[指導上のポイント]

- 数学的な性質の発見という場面で生徒が思考するための道具としてコンピュータの活用が有効です。グラフ作成アプリを活用して点Aのx座標やy座標の値を入力することで、関数や図形の理解、探究的な学びの課題解決につながります。
- 数学の事象から問題を見だし、解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したり、説明し伝え合ったりする活動が必要です。

(4) 理科における特徴的な問題

2

3 次は、実験の後の、あきらさんと先生の会話である。□にあてはまることを書きなさい。

あきら：部屋のデジタル気温・湿度計を確認したところ、湿度は80.0%でしたが、実験で求めた湿度はこの値よりも低くなりました。これはなぜでしょうか。

先生：学校で行った実験では、コップの表面が水の温度と同じになるように、金属製のコップを用いましたね。

あきら：実験では、ガラス製のコップの表面が水の温度と同じになっていなかったということでしょうか。

先生：そうですね。このような結果になるのは、ガラス製のコップと金属製のコップでどのようなちがいがあつたためだと思いますか。

あきら：ガラスは金属に比べて□からだと思います。

先生：そのとおりです。実験に用いる器具の選び方にも注意が必要です。

4 実験の後にエアコンの除湿機能を作動させたところ、室内の気温と湿度はそれぞれ28℃、80.0%から26℃、50.0%に変化した。エアコンにより室内の空気から取り除かれた水蒸気の量は何gか、答えなさい。ただし、室内の空気の体積は50m³で、空気の入替わりはなかったものとします。

[問題のねらい]

- 行った実験の結果から、実験用器具の性質の違いについて考察する力をみまました。また、エアコンの除湿機能により取り除かれる水蒸気の量について思考する力をみまました。

[指導上のポイント]

- 授業の実験において、得られた結果やデータを様々な角度から分析したり、新たな疑問や気づいたことに対して自ら思考を働かせたりすることができるような指導が必要です。また、事象を把握したうえで、データを基に、順序立てて思考する力を付けることが大切です。

3

実験

3種類の金属片（亜鉛、マグネシウム、銅）と、3種類の水溶液（硫酸亜鉛水溶液、硫酸マグネシウム水溶液、硫酸銅水溶液）を準備し、図1のように、マイクロプレートの縦の列に同じ種類の金属片を、横の列に同じ種類の水溶液を入れた。表は金属片の変化を調べてまとめたものである。ただし、金属片の表面に固体が付着したときは「○」、変化がなかったときは「-」で表すものとする。

図1

表

	亜鉛片	マグネシウム片	銅片
硫酸亜鉛水溶液	-	○	-
硫酸マグネシウム水溶液	-	-	-
硫酸銅水溶液	○	○	-

3 表から、亜鉛、マグネシウム、銅のうち最もイオンになりにくいものはどれか。表の結果をもとに、「電子」ということばを使って、そのように考えた理由もふくめて説明しなさい。

[問題のねらい]

- 実験結果から、3種類の金属のうち最もイオンになりにくいものを思考・判断し、文章を正しく組み立てて表現する力をみまました。

[指導上のポイント]

- 実験の過程において、実験結果をもとに考察する場面を設定し、自身の考えの根拠をしっかりとって表現できるよう適宜発問や助言を工夫することが大切です。

(5) 英語における特徴的な問題

16 留学中のあなたは、市立図書館で行われるボランティア活動に参加するため、David 先生からその説明を聞きます。あなたがホストファミリーに伝えなければならない情報は、集合時間、活動内容、昼食、交通手段についてです。説明を聞いた後、不足している情報を David 先生にたずねるための質問として、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア Should we bring our lunch to the city library?
- イ What time should we arrive at the city library?
- ウ What will we do for the activity?
- エ How can we go to the city library?

[問題のねらい]

- 会話を聞いて、その内容を理解し、適切に表現する力をみました。

[指導上のポイント]

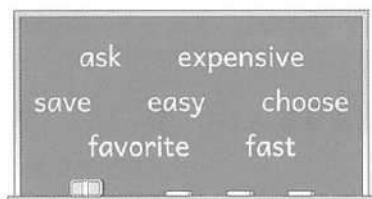
- 自分が必要とする情報を聞き取り、情報を整理して適切に応じる力が必要とされます。授業においては、自分にとって必要な情報を考えさせた上で、その部分を集中して聞き取る活動を行わせたり、理解したことを基に意見交換を行わせたりすることが必要です。

25 英語の授業で、ALT の Smith 先生から次のような<質問>をされました。<質問>に対するあなたの考えを、理由も含めて、20 語程度の英語で書きなさい。2 文以上になってもかまいません。なお、下の【図】は Smith 先生がみんなの意見を聞いて黒板に書いたものです。【図】に示した語を使ってよいこととします。

<質問>

When you want to buy clothes, which do you like better, buying them in a store or on the internet?

【図】



[問題のねらい]

- 自分の考えや意見を指定された語数の英文で適切に書く力をみました。

[指導上のポイント]

- 比較級などを使って、相手の意向を踏まえ、自分の考えや意見を適切に書く力が必要とされます。授業においては、生徒が関心をもっている話題等と関連付けて、意欲的に書く機会を増やす工夫を行い、語数が指定されても過不足なく書けるよう指導することが必要です。
- まとまりのある英文を書かせる際には、because などの論の展開を示すつなぎ言葉を効果的に使用させ、理由や根拠とともに自分の意見などを適切に表現させることが大切です。

6 国語について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(国語)

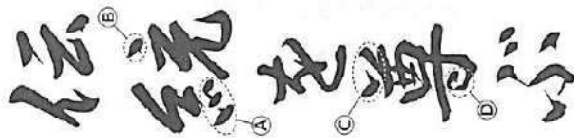
問	題 内 容	学年	県 正 答 率										
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %
1	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		74.5										
1	(1) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使いに関する事項)	小4小2	68.6										
	(2) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使いに関する事項)	小6	64.7										
	(3) 漢字の読み(言葉の特徴や使いに関する事項)	中	67.4										
	(4) 漢字の読み(言葉の特徴や使いに関する事項)	小6	97.9										
2	(1) 漢字の選択(言葉の特徴や使いに関する事項)	小2小5	81.5										
	(2) 漢字の選択(言葉の特徴や使いに関する事項)	小2	68.5										
3	書写(我が国の言語文化に関する事項)	中	73.0										
<ul style="list-style-type: none"> 大問全体の正答率は74.5%で、昨年の正答率は74.4%であり、前年並みである。(4)「預」の読みの正答率は10割に迫り、できていた。(1)「漁船」を「魚船」、(2)の「敬」を「尊」とする誤答が多かった。加えて、書き取りの問題については、楷書で、形や画数を意識して書かれていないものが散見され、減点につながっている。小問2の適切な漢字を選ぶ問題については、(1)、(2)ともに6割を超えており、概ねできていた。漢字の書きについては、文や文章の中で使うために、実際に書く活動を通して、漢字を正しく習得して書き表すことはもちろん、正しく用いる態度と習慣を養うための指導の工夫が必要である。 小問3の正答率は73.0%であり、昨年の63.0%と比較すると高くなった。行書の特徴として、点や画が省略されたり、連続したりする場合があることなどを理解させる指導が引き続き求められる。 													
2	説明的な文章		42.8										
1	品詞の識別(言葉の特徴や使いに関する事項)	中1	33.4										
2	品詞の用法(言葉の特徴や使いに関する事項)	中1	70.5										
3	内容の理解(読むこと)	中2	23.3										
4	内容の理解(読むこと)	中2	64.4										
5	内容の理解(読むこと・書くこと)	中3	23.0										
6	内容の理解(読むこと)	中2	66.3										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1の品詞の識別の正答率は33.4%と低く、小問2の品詞の用法の正答率は70.5%と概ねできていた。単語の類別について理解するとともに、話や文章を構成する上で大切な役割を果たしている指示する語句と接続する語句の理解を深めることが必要である。 小問3については、問題にある条件や【ノート】の文脈を読み取れていない解答や本文をそのまま抜き出している解答が多く、正答率は23.3%と低かった。小問5については、本文全体を踏まえて記述する必要があったが、本文の最後の部分を抜き出した解答や、効果に関することだけを記述している解答など、不十分な解答が散見され、正答率は23.0%と低かった。説明的な文章においては、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することが重要である。 													
3	古典的文章		54.3										
1	歴史的仮名遣い(我が国の言語文化に関する事項)	中1	92.4										
2	内容の理解(読むこと)	中2	43.7										
3	I 内容の理解(読むこと)	中2	44.6										
	II 主題の理解(読むこと)	中3	53.1										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は我が国の言語文化に関する事項を問う問題であった。正答率は92.4%と高く、基礎的な力は身に付いていると考えられる。古典の世界に親しむためには、音読に必要な文語のきまりを知り、繰り返し音読して、その独特のリズムに気付かせることが重要である。 小問2、小問3では、空欄前後の文脈や生徒と先生の会話文を無視した解答が見られた。現代語訳や語注を手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を考えるための指導上の工夫が必要である。 													
4	文学的文章		42.0										
1	語彙(言葉の特徴や使いに関する事項)	中1	10.6										
2	I 内容の理解(読むこと)	中2	72.9										
	II 内容の理解(読むこと)	中2	38.9										
3	心情の理解(読むこと)	中1	65.3										
4	心情の理解(読むこと・書くこと)	中1	30.5										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1の語句の意味について選択肢から選ぶ問題は、昨年度の正答率69.3%と比べ、大幅に下がった。語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的にかつ個別的に捉え、その語句が文脈の中で果たしている役割を考えることが重要である。語句の意味や使いに関する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めるための指導を取り入れる必要がある。 小問3・小問4は、千春の心情について問う問題。小問3は正答率65.3%と概ねできていた。小問4は正答率30.5%と低く、本文をそのまま抜き出している解答がみられた。登場人物の心情は、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もある。細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情の変化を丁寧に捉えることが必要である。また、描写の仕方や比喩をはじめとした表現の技法などに着目し、登場人物の心情や行動、情景等の描写と結び付けることによって、新たな意味付けを行うことが重要である。 													
5	話し合うこと・作文		51.5										
1	聞き手の役割(話すこと・聞くこと)	中2	76.7										
2	内容の検討(話すこと・聞くこと)	中2	57.7										
3	構成の検討(話すこと・聞くこと)	中2	32.3										
4	作文(書くこと)	小～中	51.0										
<ul style="list-style-type: none"> 小問1の聞き手が果たしている役割を選ぶ問題については、76.7%と高い正答率であった。今回から出題した、小問2の集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する問題の正答率は57.7%、小問3の話の構成を工夫する問題の正答率は32.3%であった。「話すこと・聞くこと」の学習の場面において、異なる立場や考えを想定して、伝え合う内容を検討し、自分の立場や考えが明確になるよう、話の全体を俯瞰して論理の構成を工夫することが重要である。 作文については、「B SNSでの広報」を選択した解答が多く、良い点として「幅広い年齢層に情報を伝達できる」「人目に触れることが多い」という内容の記述が多かったが、第二段落において具体性に欠ける内容が多かった。資料にある「かごしまブランド」の特徴等を活用した解答は少なかった。また、誤字脱字や、文の照応が不適切な解答もみられた。学習の場面において、説得力を増すために、考えや意見の根拠となることを具体的に記述する指導を取り入れる必要がある。 													

(注) 学年：当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆：目安点対象の要素を含むの意。

(2) 国語の問題 (著作権法に基づき、掲載は1, 3, 5としずす。)

- 1 次の1～3の問いに答えなさい。
- 1 次の「線部」のカタカナは漢字に直し、漢字は仮名に直して書きなさい。
- (1) 早朝にギョゲンが出発する。 (2) 相手をウヤマウ。
- (3) 抑揚をつけて話す。 (4) 貴重品を先生に預ける。
- 2 次の「線部」のカタカナを漢字で書くとき、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- (1) 風にあおられてタイマイをくすす。
ア 大勢 イ 体制 ウ 体勢 工 大成
- (2) 課題の解答をハかる。
ア 詠 イ 図 ウ 計 工 測
- 3 次の行書で書かれた文字について、楷書で書かれたものと比較したとき、点線で囲まれた(A)～(D)の部分の行書の特徴として最も適当なものを、あとのア～工から選び、記号で答えなさい。



- ア (A)の部分は、筆順が変化している。
- イ (B)の部分は、点画が連続している。
- ウ (C)の部分は、点画を省略している。
- 工 (D)の部分は、直線的になっている。

3 次の文章を読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

ある修行者、行き暮れて、わづかなるあやしのしつゝの屋に、一夜宿を借りける。主情け深き者にて、結縁にて貸しける。ころは冬ざれの霜夜なれば、手足こえてかがまりければ、わが息を吹きかけてあたためけり。ややあつて後、熱き飯を食ふとて、息をもつて吹きさとしければ、主この由を見て、「あやしき法師のしわざかな。つめたき物をば熱き息を出してあたため、熱き物はひややかなる息出してさまし侍るぞや。いかさまにもただ人のしわざとも見えず。天魔の現しきたれるや」とおろかにおそれ、暁がたにおよびて逃げ出しぬ。

そのごとく、至つて心つたなきものは、わが身に満足したることをだにもわきまへず、ややもすれば誇りがちなり。これほどの事をだにわきまへ始やからは、経書を見てはかへつて感ししと思ふべき。かねてこれを心得よ。これは、うち聞けば、おろかなるやうなれども、人の世にあつて、道に迷へる事、かの主が、人の息の熱きとぬるきと、わきまへかねたるにことならざるものなり。

(『伊弉保物語』による)

訓 結縁「善い行いをして仏と縁を結ぶこと」
あやしき「謙遜な」
やから「なまなま」
理中

- 1 「線部」わづかなるを現代仮名遣いに直して書きなさい。
- 2 「線部」この由を見てとありますが、その主は何を見たのですか。次の文の□に十字以内の現代語を削り、文を完成させなさい。

修行者が□、手足をあたためたり、飯をさましたりしている様子。

- 3 次の「線部」について話し合っている先生と鈴木さんたちの会話を、I・IIに横線を引いて、会話を完成させなさい。ただし、Iは本文中から十一字で抜き出し、IIはIIの選択肢から最も適当なものを選び、記号で答えることとします。

鈴木さん 「主はどうして修行者を追い出したのか。」
高橋さん 「修行者の行動を見て、普通の人はない悪魔だと恐れだからだよ。」
野村さん 「本文には、主がI「まわらなかつたこと」を「おろか」だと書かれているね。」
鈴木さん 「確かに、本文にあるように、現代でもII「こと」があるよね。」
先生 「古典に書かれたものの見方や考え方の中には、長い年月を経てもなお現代と共通するものがありますね。」

IIの選択肢

- ア 冷静に行動することができず、誤解を招いてしまう
- イ 善悪を判断することができず、対応が遅れてしまう
- ウ 相手に気を遣うことができず、配慮に欠けてしまう
- 工 道理を理解することができず、判断を誤ってしまう

(2) 国語の問題

5 前田さんの学級では、授業で「鹿児島の産業の活性化」というテーマでグループごとに発表することになりました。次は、「農業の活性化」というテーマで発表する前田さんのグループの「発表の構成案」と「話し合いの記録」です。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

【発表の構成案】

発表内容	スライドの内容
① 県の農業を活性化させるために、県産の高産物(「かごしまブランド」)を積極的に食べることや、認知度を上げることを提案する。	提案内容を提示する。
② 県産の農畜産物を食べることは、消費者にメリットがある。 ・県内で生産されているので、輸送する時間が短く、より新鮮なまま店頭に出る。 ・県独自の安心・安全の基準を満たしている。	生産者から消費者に届くまでの過程を示す。 消費者のメリットを箇条書きで挙げる。
③ 消費者が県産の農畜産物を食べることは、生産者にもメリットがある。 ・生産地と消費地が近いため、輸送する時間が短く効率的になる。 ・遠くの消費地へ出荷する場合と違って、販売方法の制限が少ない。	生産者のメリットを箇条書きで挙げる。
④ 「かごしまブランド」マークを紹介する。	マークを提示する。
⑤ 鹿児島県の農業産出額は、全国で二位(令和五年度)である。県にとって重要な産業を守り続けるために、「かごしまブランド」を産物とや認知度を上げることを提案する。	全国二位であることと、特に生産の多い農畜産物を示す。

- 1 線部①の山本さんの発言についての説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 青木さんの発言を受け止めて考察しなおし、同意している。
- イ 青木さんの主張を整理して、根拠を引き出そうとしている。
- ウ 自分と青木さんの発言内容と比較し、違いをまとめている。
- エ 一つ前の自分の発言について、詳しい説明を補足している。
- 2 線部②の小川さんの発言を受けて用意した資料として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア

「かごしまブランド」産品に対するイメージ(主な項目)

イ

購入する「かごしまブランド」産品の種類

ウ

農畜産物を購入するときの判断基準(主な項目)

エ

「かごしまブランド」産品を購入しない主な理由

※ 鹿児島県令和五年度「県産農畜産物(「かごしまブランド」)の認知度」調査結果をもとに作成。
※ ア・イ・ウは複数回答のため割合の合計が100%を超え、エは四捨五入しているため割合の合計が100%とならない。

【話し合いの記録】

前田さん 「まず、構成案について何か意見はありますか。」

山本さん 「最初に提案内容を提示していますが、この前に、聞き手の興味を引きつける内容を入れるとよいと思います。」

小川さん 「山本さんの発言に、意見があります。県の資料で見たのですが、「かごしまブランド」マークの県内における認知度は、令和五年度の調査で約50%でした。認知度の低さに驚いて、興味をもつ人が多いと思います。」

前田さん 「では、マークの紹介とともに、認知度の低さを示して、最初に聞き手の興味を引きつけるようにしましょう。」

青木さん 「そのほかの部分についてですが、私は消費者の利点よりも生産者の利点を先に示す方がよいと思いました。」

山本さん 「なるほど。しかし、聞き手は学級のみならず、つまり消費者です。消費者から見たメリットを先に示す方がよいのではないのでしょうか。」

青木さん 「私は「農業の活性化」というテーマを踏まえて考えました。」

山本さん 「①項に、農業の活性化には、生産者が農業を続けられる環境を整える必要がありますね。生産者の利点を先に挙げる方がよいかもしれませんね。」

前田さん 「では、構成は決まりましたね。ほかにも、発表内容やスライドの内容について、何か意見はありますか。」

小川さん 「②の発表に、もっと説得力のある資料を追加したいです。県産の農畜産物のよい点が消費者の求めることに合っていることを伝えられるとよいと思いました。」

青木さん 「⑤の「かごしまブランド」の認知度を上げる取り組みについては、もっと具体的な提案が必要だと思います。」

- 3 話し合いの結果、発表の構成はどのように変わりましたが、発表内容の①、⑤を正しく並び替えて答えなさい。
- 4 線部③の「認知度を上げる取り組み」について、前田さんたちは話し合っ、広報の方法について次の案を出しました。これらの案に基づいて、あなたならどのような具体的な取り組みを提案しますか。あとの(1)～(3)の条件に従って書きなさい。

【前田さんたちの案】

- A 販売している店の店頭での広報
- B SNSでの広報
- C 各種イベントでの広報
- D 新聞・雑誌での広報
- E 県の広報紙・県ウェブサイトでの広報

条件

- (1) あなたが考えを述べたい項目を【前田さんたちの案】のA～Eから一つ選び、【I】に書くこと。
- (2) 【II】は、二段落で構成し、六行以上八行以下で書くこと。
・ 第一段落には、【I】を選んだ理由として、その方法のよい点を書くこと。
・ 第二段落には、【I】の方法を使って行いたいことについて具体的に書くこと。
- (3) 原稿用紙の使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

7 社会について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（社会）

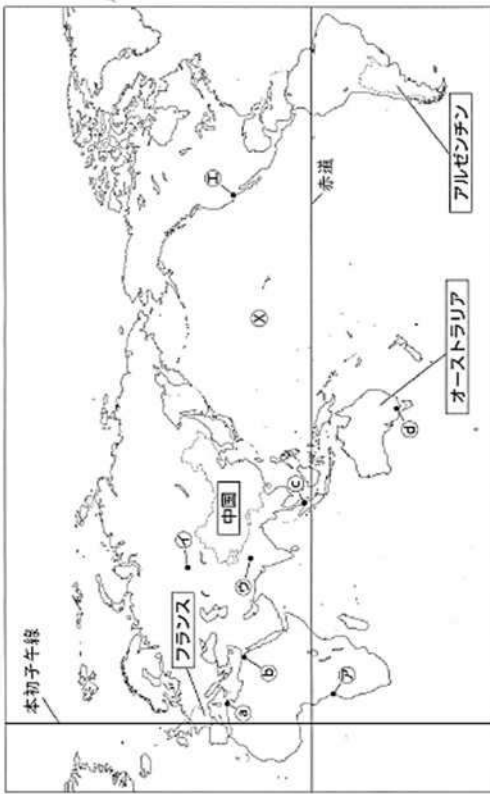
問	題	内	容	学年	正 答 率												
					0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %		
1	地理的分野を主とする問題					54.9											
I	1	1	大陸と海洋の分布	中1	94.9	☆											
			2	地図上の位置(経線、緯線)	中1	59.4	☆										
			3	世界各地の気候(雨温図)	中1	62.8											
			4	世界の国のさまざまな特徴	中1	34.6											
			5	中国における経済の改革と発展	中1	38.7											
			6	オーストラリアの政策の変化	中1	42.2											
	II	1	2	日本の地形	中2	57.0	☆										
				2	各県の農業と工業等	中2	43.6										
				3	都道府県の人口に関する特徴	中2	43.0										
				4	工場の立地の特徴	中2	60.3										
				5	新旧の地形図の比較と読み取り	中2	84.1										
				6	都市の防災	中2	52.6										
<ul style="list-style-type: none"> 大問1～3を通して、今年度は正答率20%未満の小問が見られないことから、検査に対して前向きに取り組もうとする姿勢の表れと考えている。 中間I小問1では、基礎基本の知識や技能を問い、正答率が全問中最も高く90%を超え、基礎的用語の定着がみられる。 中間I小問4では、三群から該当するものをそれぞれ選ぶ問題で、完全解答としたことが影響し、正答率が低くなったと思われる。特に、I群の人口ピラミッドでの誤答が影響し、不正解となったようである。さまざまな用語(概念)を、多角的・多面的に捉えることができるよう、単元のまとめ等で、既習事項を関連付け、総合的に理解できるよう授業の工夫を行いたい。また、中間I小問6は、白豪主義の意味を理解せずに解答を作成している様子が見られた。学習の基礎基本として、用語について正しい理解を促したい。 中間II小問1は、基本的な用語を問うたが、正答率が約6割にとどまった。「飛騨(山脈)」「越後(山脈)」の誤答が見られた。小問5は、正答率84.1%と中間中で最も高い正答率であり、地形図の読み取りに関する技能について十分学習成果が認められる。 中間II小問2、中間II小問3は、表中の項目からそれぞれの特徴を関連付ける必要があったことが正答率をやや下げた原因と考えられる。また、中間II小問4は、資料3の主な製粉工場の立地の特徴とその理由を、資料4を大観して日本は小麦の自給率が継続的に低いことに関連付けて解答を表現するという社会的なものの見方・考え方を問う典型的な問題であり、正答率は約6割であった。 中間II小問6について、資料Bのハザードマップからこの地域が浸水地帯であることを読み取り、資料Aの施設の機能を考える問題で、基本的な防災設備の機能を理解していれば解答できるが、一部で誤答から「避難施設」と捉えている様子が見られた。授業においては、目頃から資料を用いてそこに何が表れているかを思考するようにし、そこから何を考えるかを思考し表現する指導を行いたい。また、あわせて、グラフや資料を読み解く際の視点やポイントが身に付くような工夫を行いたい。 																	
2	歴史的分野を主とする問題					49.5											
I	1	①	東大寺を建立した天皇	中1	62.6	☆											
			②	江戸時代初期の武家統制のための制度	中1	53.2	☆										
			2	奈良時代の税	中1	52.0											
			3	鎌倉時代の政治体制	中1	74.0											
			4	江戸時代の農業の発展	中1	37.9											
			5	江戸時代後期の日本と世界のできごと	中1	45.0											
	II	1	①	明治時代の政策	中2	71.9	☆										
				②	満州国の建国	中2	32.9	☆									
				2	大日本帝国憲法	中2	60.6										
				3	不平等条約の改正	中2	65.0										
				4	世界恐慌のソ連への影響	中2	49.9										
				5	日本の国際連合加盟	中3	37.8										
6	現代のできごと	中3	30.1														
<ul style="list-style-type: none"> 中間I・IIの小問1では、基礎的用語の定着をみる問題で、正答率が高いことを期待したが、思いのほか伸び悩んだ。特に、中間II小問1②は、正答率が32.9%と非常に低かった。誤答として「桓武(天皇)」、「公事方御定書」等が見られ、満州国に関しては「中華民国」や「中国」などの誤答が見られた。基礎的用語の理解や定着を再度はかりたい。 中間I小問4は、江戸時代の農業の発展に関する論述問題であり、正答率は37.9%であった。解答に際しては、使用する用語を指定する等、付帯条件があり、受検者はそれを用いた文章表現に苦戦したようである。授業では、文章表現の際に、必須の用語となる語句を与えながら、解答を作成する等、用語の意味の理解もあわせて見ることができるよう工夫したい。また、教科科目を超えたあらゆる場面で、文章による表現力を育成する指導を行いたい。 中間I小問5は、正答率が約4割であった。ある人物がメモから松平定信であることに気付き、その上で同時代のものを世界史分野と日本史分野から選択する問題で、特に世界史分野の選択についての誤答が見られた。高等学校でも日本史と世界史を融合した科目「歴史総合」が必修科目になっていることから、中学時からバランス良く学習しておきたい。 中間II小問5及び小問6は、正答率が約3割、4割弱であった。今年度も現代史の内容の定着度の低さが目立った。現代史は、例年正答率が低い傾向にある。シラバスに基づいて現代史の時間を十分確保しつつ、生徒自身の今につなげながら現代史の学習ができるようにしたい。 																	
3	公民的分野を主とする問題					51.8											
I	1	1	日本国憲法の基本原理	中3	83.4	☆											
			2	法の下での平等	中3	63.7											
			3	内閣の役割	中3	51.5											
			4	人の支配と法の支配	中3	58.1											
			5	選挙制度の特徴	中3	58.2											
			6	地方交付税交付金の役割	中3	36.8											
	II	1	1	三つの経済主体	中3	83.4	☆										
				2	株式会社と株主の関係	中3	49.1										
				3	需要と供給	中3	73.5										
				4	公共事業	中3	28.1										
				5	鹿児島県の施策とCSR	中3	25.9										
				5	鹿児島県の施策とCSR	中3	25.9										
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1及び中間II小問1は、正答率が80%を超えており、基礎的基本的事項の定着が見られる。 中間I小問5は、今年2月に衆議院議員総選挙が行われ、選挙について話題になったことと直接関連する問題となった。選択を組み合わせる問題で正答率は約6割であった。授業では、日常生活で社会に関心を持てるよう、時事問題を取り入れた授業になるよう工夫したい。 中間I小問6は、地方交付税交付金の役割を問う問題で、正答率は36.8%にとどまった。資料2の県民の所得と資料3の歳入の項目別割合を結びつけることができている解答が見られた。授業では、資料の見方やポイントを扱いながら、問いをもとに複数の資料から必要な情報を読み取る力を養えるよう工夫したい。 中間II小問3は、需給曲線から供給側の視点に立って考えることが必要な問題であった。正答率は7割を超えており、論理的な思考により需給のメカニズムを読み解く力が養成されていることがうかがえる。 中間II小問4は、正答率が28.1%と低く、「インフラ」「公衆衛生」という誤答が見られた。 中間II小問5は、CSRに関する問題で、正答率は25.9%であった。CSRの用語を十分理解していなかったり、環境保全そのものがCSRであると捉えられるような、焦点がずれてしまっている解答が見られた。基本的な用語の定着を図るとともに、実社会における具体例を示し、より学習内容を深く理解できるようにしたい。 																	

(注) 学年: 当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

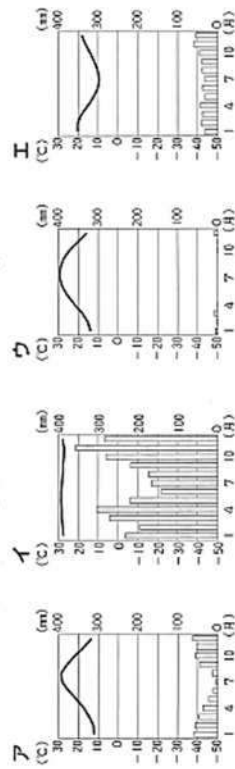
(注) ☆ : 目安点対象の要素を含む意。

(2) 社会の問題

- 1 次のⅠ、Ⅱの問いに答えなさい。答えを選ぶ問いについては一つ選び、その記号を書きなさい。
 Ⅰ あおいさんは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催をきっかけに、世界の国々の特徴について興味をもちました。次の略地図を見て、1～6の問いに答えなさい。

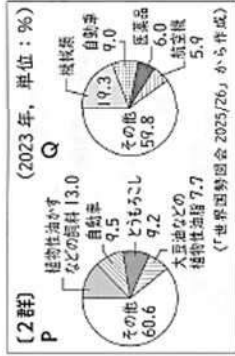


- 1 略地図中の⑧は、世界の三大洋の一つで、世界最大の面積をもつ海洋です。この海洋の名称を書きなさい。
 2 略地図中の②～⑥の都市のうち、北緯51度、東経71度付近にあるものはどれか、選びなさい。
 3 あおいさんは、略地図中に示したいくつかの都市の気候について興味をもち、略地図中の②～④の都市の雨温図を見ました。次のア～エの雨温図は、略地図中の②～④の都市のいずれかのもです。このうち、③の都市の雨温図はどれか、選びなさい。



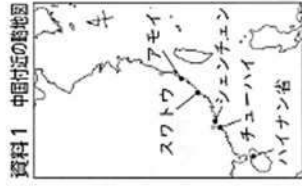
(「理科年表 2025」から作成)

- 4 略地図中に示したフランスとアルゼンチンについて、(1群)は人口ピラミッド、(2群)は輸出品目別割合、(3群)は発電エネルギー源別割合を示しています。(1群)、(2群)、(3群)において、フランスを示しているものを、それぞれ選びなさい。



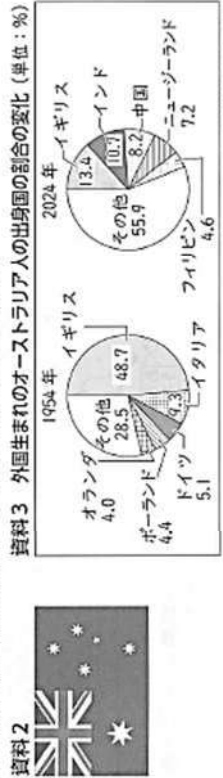
- 5 あおいさんは、略地図中に示した中国における経済の改革と発展について興味をもち、資料1をもとにメモを作成しました。あおいさんが作成したメモの文章中のXに[]にあてはまることばを、漢字4字で書きなさい。また、Yに[]に選ぶあおいさんが作成したメモ

中国では、工業化を進めるため、資料1の五つの地区をXに指定した。この地区では、税金などの負担を軽くしてYことで、資金や技術の導入を進めてきた。



資料1 中国付近の地図

- 6 あおいさんは、略地図中に示したオーストラリアの社会について興味をもち、資料2のオーストラリアの国旗と資料3を見つけた。資料2と資料3から、外国生まれのオーストラリア人の出身国の割合がどのように変化しているか、かつてオーストラリアを植民地として支配していた国名と、オーストラリアの政策の変化を明らかにしながら、説明しなさい。ただし、移民、白豪主義ということばを用いることとします。



資料2 1954年

資料3 外国生まれのオーストラリア人の出身国の割合の変化(単位:%)

(オーストラリア統計資料から作成)

Ⅱ 次は、地理的分野の授業の調べ学習で班ごとにテーマを決めて取り組んだ際に作成した学習テーマと略地図です。1～6の問いに答えなさい。

学習テーマ

A班	日本列島の地形
B班	日本の産業活動等
C班	日本の都市風景
D班	日本の工場と立地
E班	地域遺産
F班	日本各地の防災施設

略地図

1 A班は、日本の主な山脈について調べました。略地図中の①の山脈の名称を書きなさい。
 2 B班は、千葉県、山梨県、兵庫県における製造品出荷額等と農業産出額、平均標高について調べ、資料1にまとめました。資料1のZにあてはまる県を、解答用紙の略地図中に〃で示しなさい。

資料1

県	製造品出荷額等 (億円) 2022年	農業産出額 (億円) 2022年	平均 標高 (m)
X	29,047	1,164	995
Y	183,403	1,583	266
Z	158,925	3,676	45

(「データでみる県勢 2025」などから作成)

3 C班は、略地図中の北海道、愛知県、埼玉県、鹿児島県の人口に関することがらについて調べ、資料2にまとめました。北海道と埼玉県はどれか、それぞれ選びなさい。

資料2 (2020年)

道県	人口密度 (人/km ²)	昼夜間 人口比率 (%)	人口増減率 (%)
P	14.24.0	87.6	0.21
Q	1458.0	101.3	0.18
R	66.6	100.0	-0.52
S	172.9	99.9	-0.71

※ 昼間人口比率は、昼間人口÷夜間人口×100で求められる。
 ※ 人口増減率は、2010年から2020年の人口増減率で、 $(2020\text{年人口} - 2010\text{年人口}) \div 2010\text{年人口} \times 100$ で求められる。

4 D班は、日本の工場と立地について調べていく中で、小麦を製粉する主な企業の工場が、資料3のように立地していることがわかりますが、資料4の日本の小麦の自給率の特徴をふまえて、説明しなさい。

資料3

資料4 日本の小麦の自給率の推移

※ 自給率は、直量をもとにして算出 (農林産省資料から作成)

社-4

5 E班は、横浜市内について調べていく中で、1907年に発行された地形図1と2020年に発行された地形図2を見つめました。地形図1と地形図2を比較して読み取れることとして、最も適当なものを選びなさい。

地形図1

地形図2

(国土院提供 2万5千分の1地形図「横浜駅前」をもとに作成)

A 地形図1の大規模公園は、地形図2では面積が小さくなっている。
 B 地形図1で山下公園を通っていた鉄道は、地形図2では廃線になっている。
 C 地形図2で横浜気象台がある場所には、地形図1では高速道路が南北に通っていた。
 D 地形図2で元町・中華街駅となっている場所には、地形図1では果樹園が広がっていた。
 E F班は、日本各地の防災施設について調べていく中で、福岡市にある防災施設に関する資料Aと資料Bを見つけて、レポートを作成しました。レポートの一部の文中の[]に適することを補い、これを完成させなさい。ただし、資料Aの施設の種類と目的にふれながら書くこととします。

レポートの一部

この地域の地下に資料Aの施設がつくられたのは、資料Bから分かるように、大雨が降ったときに [] ためておくと考えられる。

資料A 地下につくられた施設

資料B 資料Aの施設付近のハザードマップ

凡例：水深の目安
 3.0～6.1m 未測
 1.0～3.0m 未測
 0.5～1.0m 未測
 0.5m 未測
 0.5m 未満
 家庭用様等
 指定想定区域

(福岡市ホームページをもとに作成)

社-5

(2) 社会の問題

2 次のI, IIの問いに答えなさい。答えを迷ぶ問いについては一つ選び、その記号を書きなさい。
I 次は、りくさんとうみさんが奈良時代、鎌倉時代、江戸時代に行われた政策をまとめたカードと、二人の会話文です。1～5の問いに答えなさい。

<p>A 奈良時代</p> <p>① 天皇が仏教の力を国を守るため、東大寺を建て大仏を造らせた。</p>	<p>B 鎌倉時代</p> <p>北条泰時が政治の判断の基準となる御成敗式目(貞永式目)を定めた。</p>	<p>C 江戸時代</p> <p>徳川氏が将軍を務め、その下でさまざまな改革が行われた。</p>
--	---	--

会話文

りくさん：これまでにいろいろな時代の歴史を学んだけれど、どの時代の政策が印象に残った？
うみさん：④奈良時代の政策かな。カードAのほかにも、地方の国ごとに寺が建てられているよ。鹿島県内にもその史跡があるんだ。
りくさん：そうなんだ。私は鎌倉時代にもその史跡があるんだ。
うみさん：そうだね。ほかにも約260年も続いた⑤江戸時代に行われた政策も見逃せないよね。江戸幕府は、②を定め、この法律で大名の築城や結婚などに制限を設けることで、全国の大名を統制したよ。その後さまざまな⑥改革が行われたよ。
りくさん：なるほど。ほかの時代にはどんな政策があるのか調べてみたいな。

1 ①, ② にあてはまる最も適当な天皇名と法律名を書きなさい。
2 ⑥に関して、りくさんが作成したノートの文章中の X にあてはまることばを選びなさい。ただし、 X には同じことばが入ることとなります。
りくさんが作成したノート

写真

平城京に運ばれた税には、どの国から、何の品物が運ばれてきたか分かるように、写真のような木簡が荷札として使われていた。
当時、課されていた税には、木簡に記載されている若狭国(現在の福井県南部分近)の小丹生郷から納められていた塩のように、その地域の特産物を結める X などの記号があった。

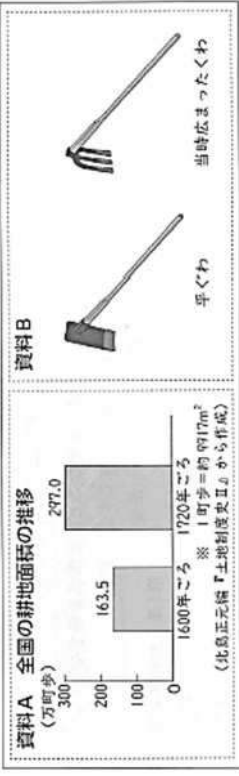
若狭国 越前国 小丹生郷 三ヶ人 陸奥国
 X 馬二斗
 X 小丹生郷

※ 木簡の底の文字は本写りに書かれていない可能性がある。(※5と6は別冊で解説中)

A 租 イ 産 ウ 餅 工 調

社-6

3 ⑥に関して、執権政治を説明した文として最も適当なものを選びなさい。
A 自分の領を天皇の后にし、天皇を補佐するかたちで行った政治
イ 将軍を補佐する地位に就いて、有力な御家人をまとめて行った政治
ウ 自由で対等な市民が、全員で政令を聞いて行った政治
エ 戦いが続く続いた後に、大きな連合の代表となった女王の下で行った政治
4 ⑥に関して、うみさんは、江戸時代の農業について調べていく中で、江戸時代に農作物の収穫量が増えたことを知り、その背景に関する資料A、資料Bを見つけて下のようによまごめを行いました。よまごめの文中の を資料A、資料Bをもとにして補い、これを完成させなさい。ただし、に適することばを、資料A、資料Bを用いることとします。また、資料Bについては、当時新田開発、作業能率ということとします。また、資料Bについては、当時広まったくわの利点とその名称を明らかにすることとします。



よまごめ

江戸時代は、 ため、農作物の収穫量が増加したと考えられる。

5 ⑥に関して、うみさんは、あ うみさんが作成したメモ

人物の改革について調べ、メモを作成しました。次の作品P, Qと世界のできごとR, Sのうち、この人物が老中であった時期のもの組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

メモ

- ・ 朱子学を重んじ、昌平坂学問所で人材の育成に努める。
- ・ 江戸に出かせぎにきていた農民を村へ帰し、農作物の栽培を制限して米などの生産をすすめる。
- ・ 凶作やききんに備えて、米を蓄えさせる。

<p>P 早五月 上川 成前 集て</p>	<p>Q 白河 魚もとの 湖のすずの 恐瀧みかき しりりのなで</p>	<p>R </p>	<p>S </p>
-----------------------	-------------------------------------	-----------	-----------

松尾芭蕉の『おくの細道』 流行した狂歌

フランス革命の発端となったバスチーユ牢獄の襲撃

A (P, R) イ (P, S) ウ (Q, R) エ (Q, S)

社-7

(2) 社会の問題

5 ③に関して、かおるさんは、サンフランシスコ平和条約締結の翌年に日本が独立を回復してから、国際連合への加盟が認められるまで4年かかっていることを知り、その背景を調べたい。資料4と資料5を見つけた。資料4と資料5をもとに、1956年に日本が国際連合に加盟できた理由を、資料4に出された発言の名称を明らかにしながら説明しなさい。

資料5 日本の国際連合加盟申請に対する安全保障理事会常任理事国の賛否

常任理事国	1952年	1956年
アメリカ	賛成	賛成
イギリス	賛成	賛成
フランス	賛成	賛成
ソ連	反対	賛成
中国	賛成	賛成

日本とソビエト社会主義共和国連邦との間の戦争状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間、平和及び友好善隣関係が回復される。

資料4 ある宣言（一部）

6 ⑥以降におこったことに関する資料を、次から三つ選び、そのできごとがおこった年代の古い順に並べなさい。

イ



冷戦の終結が宣言されたマルタ会議

ア



温室効果ガス削減に向け採択されたパリ協定

エ



日本と中国との間で締結された日中平和友好条約

ウ



平和10原則が採択されたアジア・アフリカ会議

II かおるさんは、2025年が第二次世界大戦の終結後80年にあたることを知り、戦前と戦後の日本と世界のできごとについて年表をまとめた。年表を見て、1～6の問いに答えなさい。

年	できごと
1873	満23歳に達した男子に兵役を義務づける①令が出される
1889	天皇が国民にあたる形式で④大日本国憲法が公布される
1894	日本が⑥領事裁判権の撤廃に成功する
1919	第一次世界大戦終結後のパリ講和会議でベルサイユ条約が結ばれる
1929	アメリカで株価が大暴落し、⑤世界恐慌がおこる
1932	清の最後の皇帝だった溥儀を元首（執政）とする②の建国が宣言される
1945	日本がポツダム宣言を受け入れて第二次世界大戦が終わる
1951	④サンフランシスコ平和条約が締結される
1970	③日本万国博覧会（大阪万博）が開催される

1 ①、②、③にあてはまる最も適当なことばと国名を書きなさい。

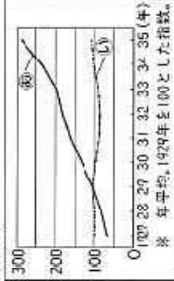
資料1

第1条 日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス
第2条 天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラズ
第3条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス
※ 統帥…指揮すること。

資料2



資料3



2 ⑥に関して、資料1はこの憲法の条文の一部です。この草案作成の中心となった人物と、その人物が草案作成のために参考にした主な国の組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

人物	国
ア 板垣退助	イギリス
イ 板垣退助	ドイツ
ウ 伊藤博文	イギリス
エ 伊藤博文	ドイツ

3 ⑤に関して、この経緯を説明した次の文章中の□にあてはまることばを書きなさい。

資料2の風刺画で示される□事件によって、日本国内で不平等条約を改正する世論が高まった。その後、日英通商航海条約が結ばれ、不平等条約の内容のうち、領事裁判権の廃廃に成功した。

4 ⑤に関して、資料3は、ソ連とイギリスの工業生産の推移を示しています。次の文章中の□X、□Yにあてはまるものの組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

資料3において、ソ連を示しているのは、□Xである。ソ連は、□Yの政策をとっていたため、世界恐慌の影響を大きく受けなかった。

- ア (X) (X) Y ブロック経済 イ (X) (X) Y ブロック経済
ウ (X) (X) Y 計画経済 エ (X) (X) Y 計画経済

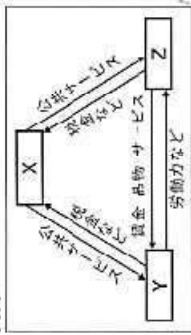
社-8

社-9

(2) 社会の問題

1 ④に関して、資料1は三つの経済主体の

経済活動について示したものです。資料1の
 X ~ Z にあてはまることを
 書きなさい。ただし、それぞれ、家計、企業、
 政府ということばのいずれかが入ります。



2 ⑤に関して、資料2は、株式会社と株主の関

係について示したものです。資料2の
 にあてはまる最も適当なことを書きなさい。

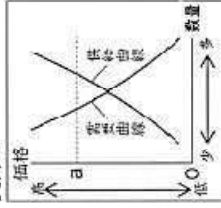


3 ⑥に関して、はるさんは、資料3をもとに需要と供給、価格の関

係について、次のようにまとめました。はるさんのまとめの⑦~⑨
 について、() からそれぞれ適当なものを選んで書きなさい。
 はるさんのまとめ

⑦ 価格がaのとき、均衡価格より(㉑: 高い・低い)ので、
 売れる側(㉒: 売れ残り・品不足)が発生してい
 る状態であることから、価格は(㉓: 上がり・下がり)、
 やがて均衡価格に近づいていく。

資料3



4 ⑥に関して、政府の公共事業について説明した次の文中の
 漢字4字で補い、これを完成させなさい。

政府の公共事業には、道路や公園、港湾、上下水道といった公共施設などの
 の整備や、学校教育などの公共サービスの提供などがある。

5 ⑥に関して、はるさんが興味をもち、調べてみると、CSRということばがあることと
 鹿児島県で「かごしま環境パートナーズ制度」とよばれる制度があることを知り、鹿児島
 のホームページをもとにメモにまとめた。はるさんのメモを参考に、企業は、利潤の
 追求以外に、地域社会の一員として、どんな目的でこのような制度を利用するのか、CSR
 ということばの意味を明らかにしながら解答欄に合わせて説明しなさい。

はるさんのメモ

【かごしま環境パートナーズ制度とは】

- ・ 県と企業が協定を結んで、協力して環境保全活動に取り組む制度。
- ・ 協定を締結した企業は、店舗などに右のようなステッカーを掲
 示することができる。



(鹿児島県ホームページをもとに作成)

(3) 社会の解答例

大問	配点	問題区分	解答例
1	31点	I	<p>1 太平洋</p> <p>2 ㊦</p> <p>3 ア</p> <p>4 1群：a 2群：Q 3群：ア</p> <p>5 X 経済特区</p> <p>Y 外国企業を招く</p> <p>6 オーストラリアを植民地として支配していたイギリスを中心とするヨーロッパからの移民が多かったが、白人以外の移住を制限する白豪主義政策を廃止したため、アジアなどからの移民が多くなっている。</p>
		II	<p>1 奥羽（山脈）</p> <p>2 </p> <p>3 北海道：R 埼玉県：P</p> <p>4 日本の小麦の大部分は海外から輸入しているため、船で輸入しやすい臨海部に立地している。</p> <p>5 イ</p> <p>6 雨水などを一時的にためることができるようにして、浸水などの被害を防ぐ</p>
2	31点	I	<p>1 ① 聖武</p> <p>② 武家諸法度</p> <p>2 エ</p> <p>3 イ</p> <p>4 新田開発によって耕地面積が増加し、深く耕することができる備中くわなどの農具が広まって作業能率が上がった</p> <p>5 ウ</p>
		II	<p>1 ① 敬兵</p> <p>② 満州国</p> <p>2 エ</p> <p>3 ノルマントン号</p> <p>4 ウ</p> <p>5 日ソ共同宣言が結ばれて国交が回復し、ソ連が日本の加盟に賛成したから。</p> <p>6 エ → イ → ア</p>
3	28点	I	<p>1 平和主義</p> <p>2 法の下</p> <p>3 ア</p> <p>4 イ</p> <p>5 ㊦：多く ㊧：反映しやすい</p> <p>6 地方交付税交付金の割合が大きいY県は、他の2都県と比較して、県民所得が少なく、地方税の歳入割合が小さいことから、地方交付税交付金には、地域間の格差を減らす目的がある。</p>
		II	<p>1 X：政府 Y：家計 Z：企業</p> <p>2 配当（配当金）</p> <p>3 ㊦：高い ㊧：売れ残り ㊨：下がり</p> <p>4 社会資本</p> <p>5 (CSRとは) 企業の社会的責任のことであり、企業は、環境保全などで地域社会に貢献し、社会的責任を果たす目的で、このような制度を利用している。</p>

8 数学について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（数学）

問	題 内 容	学 年	正 答 率									
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1	基本的な計算・知識		66.9									
1	(1) 整数の四則計算	小	98.2									
	(2) 分数の計算	小	91.8									
	(3) 平方根の計算	中3	66.7									
	(4) 最大公約数	小	45.4									
	(5) 文字式の利用	中1	59.1									
2	等式の変形	中2	53.0									
3	式の値	中2	70.2									
4	円周角と中心角	中3	72.7									
5	割合	小	45.2									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1(1)、(2)は、よくできていた。(2)の誤答として $13/3$、$3/2$、$19/6$ があった。 (3)では、誤答として -1、$-9\sqrt{2}$ があった。 (4)では、誤答として 7 が多かった。最小公倍数と最大公約数の意味を理解させたい。 (5)では、誤答として一つのみの正解が多かった。図形の性質についての知識を着実に付けさせたい。 小問2は正答率が比較的低かった。誤答としては符号の間違いや9で割っていないものが多かった。 小問3は正答率が比較的高かった。誤答として 69、80、88 があった。 小問4は正答率が比較的高かった。誤答として 31、30、22 があった。 小問5は正答率が比較的低かった。誤答として 41 が多く、四捨五入を間違っていた。授業では鹿児島県を題材とした問題等に取り組ませることで、数学の世界と日常生活の事象との結び付きを実感し、数学を実生活や日々の学習に生かそうとする態度を育成することが大切である。 												
2	数学的な見方や考え方		42.0									
1	確率	中2	54.9									
2	反比例の式、1次関数	中2	52.6									
3	作図(垂直二等分線、正三角形)	中1	37.2									
4	三角形の相似の証明	中3	47.4									
5	連立方程式	中2	23.9									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、誤答として $2/9$、$2/5$ があった。起こり得る場合を落ちや重なりがないように数え上げることが大切である。 小問2では、一次関数の式を求めている誤答があり、反比例の式を理解していないものもあった。 小問3では、線分ABの垂直二等分線まではよくできていた。作図の授業においても数学的な思考力・判断力・表現力の涵養を図るような活動が必要である。 小問4では、相似条件は理解しているものの論理的に表現できていない証明があった。 小問5では、$x+y=13$ の立式のみできていた解答が多かった。 												
3	データの活用		40.1									
1	度数分布多角形、累積相対度数	中1	39.9									
2	箱ひげ図	中2	61.6									
3	(1) 中央値	小	63.2									
	(2) 四分位数	中2	37.9									
	(3) 四分位数、箱ひげ図	中2	13.9									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、a のみ正解しているものが多かった。累積相対度数等、数学の用語の意味を理解することが大切である。 小問2は正答率が比較的高かった。箱ひげ図からは平均値が読み取れないことを理解することが大切である。 小問3(1)は正答率が比較的高かった。中央値等、数学の用語の意味を理解することが大切である。 小問3(2)では、誤答として10分、60分が多かった。(3)では、誤答としてDが多い。箱ひげ図や四分位数について理解し、粘り強く考える姿勢が大切である。 												
4	関数とその応用		18.8									
1	関数 $y=ax^2$ のグラフ	中3	40.1									
2	(1) 関数 $y=ax^2$ のグラフ、線分の長さ	中3	49.3									
	(2) 関数 $y=ax^2$ のグラフ、線分比	中3	3.7									
3	(1) 1次関数	中2	12.1									
	(2) 1次関数	中2	1.7									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、誤答として y 座標の符号を逆にしてしているもの、x 座標を 4 としているものが多かった。 小問2(1)は正答率が比較的高かった。誤答として点 A の y 座標である 9 があった。(2)は正答率が低かった。 小問3(1)は正答率が比較的低かった。計算が正しくできていない誤答があった。(2)は正答率が低かった。 普段の授業において対話的な学びの充実やICTの活用は重要であり、タブレット等を活用して関数のグラフを描画する活動は、数学的な思考力・判断力の涵養に効果的である。 												
5	平面図形・空間図形とその応用		14.7									
1	(1) 三平方の定理	中3	38.6									
	(2) 角柱の体積	小	22.5									
	(3) 角度	中3	17.3									
2	(1) 相似比	中3	9.9									
	(2) 線分の長さ	中3	1.0									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1(1)では、誤答として 10 があった。(2)では、三角すいと考えた誤答 $72\sqrt{3}$ が多かった。(3)では、誤答として 60、無解答が多かった。 小問2は無解答が多かったが、(2)にチャレンジして完答しているものや、論拠の記述が不十分なものもあった。 日常生活の中にある数学的な課題を発見し、それについて粘り強く考察する活動を授業中や探究活動の中で充実させていくことが大切である。 												

(注) 学年：当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

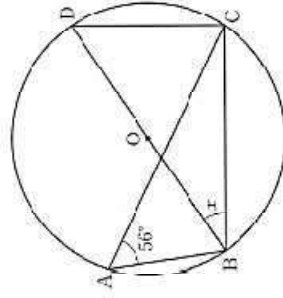
(注) ☆：目安点対象の要素を含むの意。

(2) 数学の問題

2 等式 $3x + 9y = 12$ を y について解きなさい。

3 $a = 8$, $y = 13$ のとき, $25a^2 - 3y^2$ の値を求めなさい。

4 右の図のように, 円 O の円周上に 4 点 A, B, C, D があります。線分 BD が円 O の直径であるとき, $\angle x$ の大きさを求めなさい。



5 下の表は, 2023 年の鹿児島県における農業産出額を表しています。農業産出額の合計に対する肉用牛, プロイラー (鶏肉) の 2 品目の合計の割合は, $x\%$ にあたると求めなさい。ただし, 小数第 1 位を四捨五入することとします。

	肉用牛	プロイラー (鶏肉)	豚	野菜	鶏卵	いも類	その他	合計
農業産出額 (億円)	1208	1667	911	573	439	310	931	5438

(鹿児島県産出額資料から作成)

1 次の 1 ~ 5 の問いに答えなさい。

(1) 次の (1) ~ (5) の問いに答えなさい。

(i) $13 - 2 \times 4$ を計算しなさい。

(ii) $\frac{7}{8} \div \frac{3}{4} - \frac{1}{3}$ を計算しなさい。

(iii) $3\sqrt{2} - 4\sqrt{3} \div \sqrt{6}$ を計算しなさい。

(iv) 98, 210 の 2 つの数をわり切ることのできるいちばん大きい自然数を求めなさい。

(v) 次のア~エの に入る文字を使った式について, $4x$ と表すことができるものをすべて選び, 記号で答えなさい。

ア 底辺 4 cm, 高さ x cm の三角形の面積は cm^2 である。

イ 底面積が $x \text{ cm}^2$, 高さ 12 cm の三角錐の体積は cm^3 である。

ウ 縦 x cm, 横 4 cm の長方形の周の長さは cm である。

エ 1 辺 x cm の正方形の周の長さは cm である。

数-2

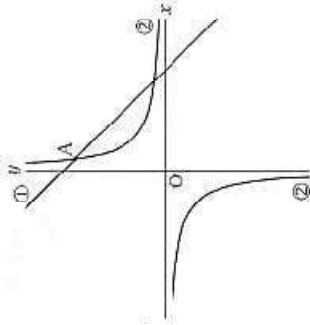
数-3

(2) 数学の問題

2 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 1から5までの整数が1つずつ書かれた5枚のカードがあります。この5枚のカードから2枚のカードを同時に引くとき、引いた2枚のカードに書かれた数の積が、3の倍数にならない確率を求めなさい。

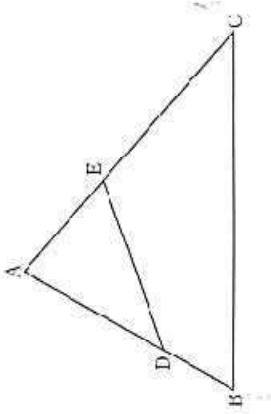
- 2 右の図の①は関数 $y = -x + 9$ のグラフであり、②は反比例のグラフです。①と②は点Aで交わっていて、点Aのx座標が1であるとき、②について、 y をxの式で表しなさい。



- 3 下の図のような線分ABがあります。線分ABの右側に $AP = BP$ 、 $\angle APR = 120^\circ$ となるような点Pを定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし、点Pの位置を示す文字Pも書き入れ、作図に用いた線も残しておきなさい。



- 4 右の図のように $\triangle ABC$ の辺AB上に点D、辺AC上に点Eがあります。 $AD = 4$ cm、 $DB = 2$ cm、 $AE = 3$ cm、 $EC = 5$ cm のとき、 $\triangle ABC$ と $\triangle AED$ であることを証明しなさい。



- 5 桜島小みかんがいくつもあり、それを袋詰めするための大きい袋と小さい袋が合わせて13枚あります。桜島小みかんを大きい袋に8個ずつ、小さい袋に4個ずつ入れると、すべての袋を使いますが、7個が残ります。また、大きい袋に10個ずつ、小さい袋に5個ずつ入れると、桜島小みかんはすべて袋に入り大きい袋は余らず、小さい袋だけ2枚余ります。このとき、大きい袋はすべて10個ずつ、小さい袋は余った2枚以外すべて5個ずつ入っている3枚、大きい袋と小さい袋の枚数をそれぞれ求めなさい。ただし、大きい袋をx枚、小さい袋をy枚として、その方程式と計算過程も書きなさい。

(2) 数学の問題

3 マオさんとユウさんは、ある日の家庭学習の時間についてクラスの10人にアンケートを実施しました。表のようにJさんのデータはまだ入力されていません。下はこのアンケート結果について話し合っている場面です。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

マオ：1日あたりの家庭学習の時間はもうなっているのだから。
 ユウ：Jさんのアンケート結果はまだ入力されていないけれど、①9人分のデータの代表値を調べてみたよ。

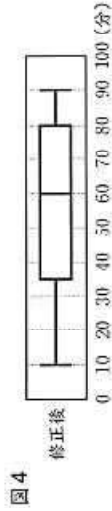
表 ある日の家庭学習の時間(分)

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん
10	50	90	30	70	80	40	80	20	

マオ：Jさんのアンケート結果を入力したら、代表値も変わるのかな。
 ユウ：箱ひげ図も変化しそうだね。調べてみよう。
 先生：Jさんのアンケート結果を回収したので、表にJさんのデータを入力して、箱ひげ図をつくらせよ。図3のようになりませう。表の9人分のデータと図3の箱ひげ図から、Jさんのデータとして考えられる値を求めてみましょう。

図3

- (1) 下線部①について、ある日の家庭学習の時間の中央値を求めなさい。
- (2) 下線部②について、表に追加したJさんのデータとして考えられる最も小さい値を求めなさい。
- (3) 表のJさん以外の9人のデータのうち、ある1人のデータを、追加でアンケートを実施したKさんのデータと入れ替えました。入れ替え後の9人のデータを箱ひげ図に表すと、図4のようにになりました。このとき、誰のデータと入れ替えたかを答えなさい。また、Kさんのデータの値を求めなさい。



数-7

3 マオさんとユウさんは、ニュースで全国の中学生の家庭学習の時間が減少している傾向にあることを知りました。そこで、月曜日から金曜日の家庭学習の合計時間について、今年1月と昨年1月に中学2年生25人に対してアンケートを実施した結果を、タブレットの表計算ソフトを使ってまとめました。図1はこの結果を度数分布多角形に表したもので、下の【会話】はこのアンケートの結果について話し合っている場面です。なお、アンケートの回答のデータは130, 140, 150のように10分単位になっています。次の1~3の問いに答えなさい。

【会話】

マオ：今年と昨年のグラフ(図1)を比べると、分布の山の頂上の高さは同じで、今年より昨年の方が左にあるよ。
 ユウ：データの範囲は、今年も昨年もほぼ同じだね。家庭学習の合計時間は【②】といえそうだね。
 マオ：累積相対度数が0.3をこえない最大の階級の階級値は、昨年が【③】分、今年が【④】分であることからも分かるよ。
 先生：みなさんが言うとおりで。それでは、家庭学習の時間について、さらに調べてみましょう。

1 【①】~【④】に入る最も適当なもの、選択肢のア~シの中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

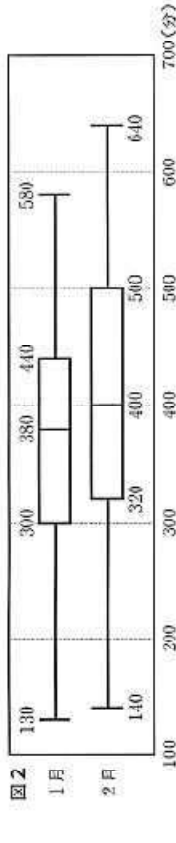
選択肢

ア	今年も昨年と同じ	イ	昨年より今年の方が少ない
ウ	昨年より今年の方が多い	エ	90
ク	330	カ	150
ケ	330	キ	210
コ	450	ク	510
サ	510	ケ	570

図1

(人) 月曜日から金曜日の家庭学習の合計時間

2 今年1月の25人に対するアンケートに続けて、2月にも同じ25人に対して同様のアンケートを実施し、図2のように、箱ひげ図に表しました。この図から読み取れることとして正しいものを下のア~エの中からすべて選び、記号で答えなさい。



- ア 家庭学習の合計時間が300分未満の人の割合は1月よりも2月が小さい。
 イ 家庭学習の合計時間の最大値は1月よりも2月が大きい。
 ウ 家庭学習の合計時間の平均値は1月よりも2月が大きい。
 エ 家庭学習の合計時間の四分位範囲は1月よりも2月が大きい。

数-6

(2) 数学の問題

- 2 下線部②について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 (1) 点Aのx座標を-3としたとき、辺ABの長さを求めなさい。

(2) $AB = \frac{5}{6}BC$ のとき、点Aのx座標として入力した値を求めなさい。

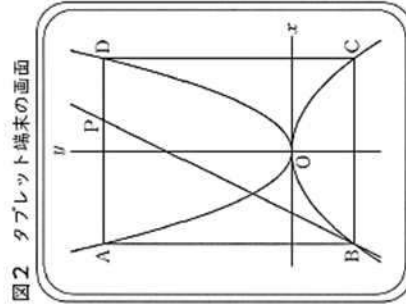


図2 タブレット端末の画面

- 3 先生は、図2のように図1の画面上に点Bを通り、辺ADと交わる1次関数のグラフを重ねて表示しました。この1次関数のグラフと辺ADとの交点をPとします。△ABPの面積が長方形ABCDの面積の $\frac{1}{3}$ になるとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 (1) 点Aのx座標が-6のとき、直線BPの式を求めなさい。

(2) 直線BPの傾きが9になるとき、点Aの座標を求めなさい。

- 4 マオさんとレンさんは、タブレット端末でグラフ作成アプリを使い、関数 $y = x^2$ と $y = -\frac{1}{3}x^2$ について調べています。下は授業のある場面での【会話】です。次の1～3の問いに答えなさい。

【会話】

先生：画面上に表示させた関数 $y = x^2$ のグラフ上に、x座標が負である点Aからy軸に平行な直線を引き、関数 $y = -\frac{1}{3}x^2$ のグラフとの交点をBとします。また、点Bからx軸に平行な直線を引き、関数 $y = -\frac{1}{3}x^2$ のグラフとの点B以外の交点をCとします。
 マオ：タブレット端末の画面(図1)のように線分ABを縦、BCを横とする長方形ABCDが表示されました。
 先生：点Aのx座標またはy座標のどちらかの値を入力するだけで、4つの点の座標がすべて表示されます。
 レン：どのように計算したらその座標になるか、考えてみよう。

マオ：①点Aのy座標に4を入力したとき、点Cの座標はどのように求めているのかな。
 レン：まず、 $y = x^2$ の式に $y = 4$ を代入して求めた点Aのx座標の値を、 $y = -\frac{1}{3}x^2$ の式に代入すると、点Bのy座標の値を求めることができるね。
 マオ：そうすると、点Cは点Bとy軸について対称の位置にあるから、点Cの座標を求めることができるね。
 レン：同じように点Aのx座標に値を代入すると、他の点の座標を求めることができますよ。
 ②画面上に表示させたこれらのグラフを使って、他にわかることがあるか確かめてみよう。

- 1 下線部①について、点Aのy座標に4を入力したとき、表示された点Cの座標を答えなさい。

(2) 数学の問題

- 5 レンさんとユウさんは、文化祭で使う立体パズルを考えています。下の【会話】を読み、次の1, 2の問いに答えなさい。

【会話】

レン：下のような積み木(図1)があるから、これを利用してパズルを考えよう。
 ユウ：底面は1辺6 cmの正方形で、高さ12 cmの正四角柱の形をしているね。
 レン：異なる形に切り取って、もとの形に戻す立体パズルにするのはどうかな。
 ユウ：面白そうだね。まず、下のようには積み木(図2)の表面に切り取る線を何本か引いてみるよ。
 レン：次に、引いた線を使って積み木を切り取れば下のようなパズル(図3)ができるね。
 ユウ：切り取った立体の体積や辺の長さなどを考えてみよう。

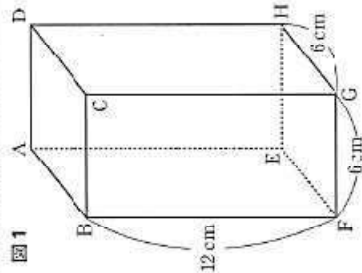


図1

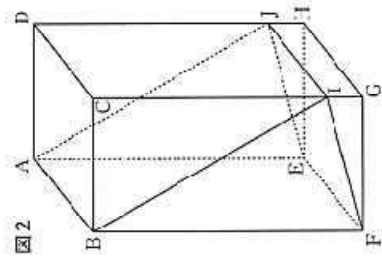


図2

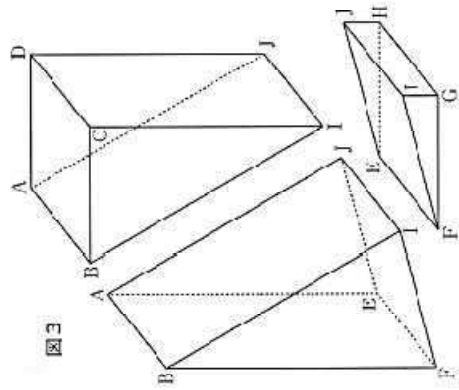


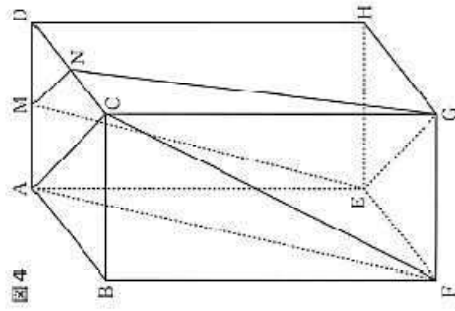
図3

- 1 図2のように、図1の正四角柱 $ABCD-EFGH$ の積み木の辺 CG 上に $BI=BF$ となる点 I を、辺 DH 上に $AJ=AE$ となる点 J をそれぞれとり、切り取る線分 AJ, BI, EI, FI, IJ をそれぞれ引きました。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。
 (1) 線分 CI の長さを求めなさい。

- (2) 三角柱 $ADJ-BCI$ の体積を求めなさい。

- (3) $\angle FIG$ の大きさを求めなさい。

図4



- 2 図4は図1の正四角柱 $ABCD-EFGH$ において、辺 AD, CD の中点をそれぞれ M, N としたものです。3点 A, C, F を通る平面と対角線 BH との交点を P 、4点 M, E, G, N を通る平面と対角線 BH との交点を Q とします。次の(1), (2)の問いに答えなさい。
 (1) $BP:PH$ を最も簡単な整数の比で表しなさい。

- (2) 線分 PQ の長さを求めなさい。ただし、求め方や計算過程も書きなさい。

(3) 数学の解答例

大問	記点	小問	解答例
1	27点	3点	1(1) 5
		3点	(2) $\frac{5}{6}$
		3点	(3) $\sqrt{2}$
		3点	(4) 14
		3点	(5) イ, エ
		3点	2 $(y = -\frac{1}{3}x + \frac{4}{3})$
		3点	3 79
		3点	4 34 (度)
3点	5 42 (%)		
2	18点	3点	1 $\frac{3}{5}$
		3点	2 $(y = \frac{8}{x})$
		4点	3
		4点	4
		4点	5
3	15点	3点	1㉔ ウ
			㉕ カ
			㉖ キ
		2点	2 イ, エ
		3点	3(1) 50 (分)
3点	(2) 70 (分)		
4点	(3) (入れ替えたデータ) I (さん) (Kさんのデータ) 80 (分)		
		<p>5</p> <p>(方程式と計算過程)</p> <p>大きい袋と小さい袋が合わせて13枚ある。また、梅島小みかんの全体の個数は変わらないので、</p> $\begin{cases} x + y = 13 & \dots ① \\ 8x + 4y + 7 = 10x + 5(y - 2) & \dots ② \end{cases}$ <p>②から、$2x + y = 17$ …③ ③-①より、$x = 4$ $x = 4$ を①に代入して、$y = 9$</p> <p>(答) 大きい袋 4枚 小さい袋 9枚</p>	
4	15点	2点	1 $(2, -\frac{4}{3})$
		3点	2(1) 12
		3点	(2) $-\frac{5}{4}$
		3点	3(1) $y = 6x + 24$
		4点	(2) $(-9, 81)$
5	15点	2点	1(1) $6\sqrt{3}$ (cm)
		3点	(2) $108\sqrt{3}$ (cm ²)
		3点	(3) 75 (度)
		2点	2(1) (BP : PH =) 1 : 2
		5点	(2) 2(2)
		<p>(求め方や計算過程)</p> <p>$\triangle BCD$ は直角二等辺三角形より、$BD = \sqrt{2}BC = 6\sqrt{2}$ (cm) $\triangle BHD$ において、三平方の定理により、 $BH^2 = DH^2 + BD^2 = 12^2 + (6\sqrt{2})^2 = 216$, $BH = 6\sqrt{6}$ (cm) …① 線分 BD と MN との交点を X とし、線分 PH と EG との交点を Y とすると、 $\triangle BQX \sim \triangle HQY$ より、$BQ : HQ = BX : HY = 3 : 2$, $BQ = \frac{3}{5}BH$ …② (1)より、$BP = \frac{1}{3}BH$ …③ ①, ②, ③より、 $PQ = BQ - BP = \frac{3}{5}BH - \frac{1}{3}BH = \frac{4}{15}BH = \frac{4}{15} \times 6\sqrt{6} = \frac{8\sqrt{6}}{5}$ (cm)</p> <p>(答) $\frac{8\sqrt{6}}{5}$ cm</p>	

9 理科について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(理科)

問 題 内 容	学年	県 正 答 率									
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1 領域を融合させた問題		54.3									
1 光の全反射	中1	51.2 ☆									
2 化学反応のモデル	中2	62.0									
3 受精卵と胚	中3	57.9 ☆									
4 化学変化と物質の質量	中2	49.9									
5 (1) 生態系	中3	69.3									
(2) 雲のでき方	中2	32.2									
(3) 月の見え方	中3	66.5									
(4) 水中ではたらく力	中3	58.7									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、正答率が51.2%であった。身近な事象とも関連させながら、正しい知識を身に付けさせたい。 小問2では、正答率が62.0%であった。化学変化を粒子のモデルと関連付けながら理解させたい。 小問3では、「幼体」の誤答が見られた。用語を正しく捉えるようにさせたい。 小問4では、正答率が49.9%と低かった。化学変化における質量の関係を正しく捉えられるようにしたい。 小問5(2)は、正答率が32.2%と低かった。事象を理解したうえで、表現する力を身に付けたい。 											
2 地球領域の問題		40.1									
I 1 露点	中2	77.7 ☆									
2 湿度	中2	34.4									
3 金属とガラスの性質のちがい	中2	55.8									
4 水蒸気量の計算	中2	16.2									
II 1 (1) 実験の操作	中1	49.0									
(2) 鉱物	中1	30.6									
2 (1) 偏西風	中2	68.2 ☆									
(2) 地層についての考察	中1	13.7									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、正答率が77.7%と高く、基本的な知識の定着が比較的できている。 中間I小問2は、正答率が34.4%と低く、湿度について正しく理解していないことがうかがえる。 中間I小問4は、正答率が16.2%と低く、データをもとに順序立てて思考し、計算する力が不足していることがうかがえる。 中間II小問1(1)は、正答率が49.0%と低い。日頃の授業より、観察・実験操作の意図をおさえながら実験したい。 中間II小問1(2)は、正答率が30.6%と低く、「イ 黒雲母」の誤答が多く見られた。 中間II小問2(2)は、正答率が13.7%と低い。与えられた情報を整理しながら思考し判断する力を養いたい。 											
3 粒子領域の問題		38.3									
I 1 蒸留	中1	64.8 ☆									
2 混合物の温度変化	中1	24.9									
3 (1) 質量パーセント濃度	中1	57.1									
(2) エタノールの濃度算出	中1	24.3									
II 1 金属の性質	中1	48.2 ☆									
2 イオンを含む化学反応式	中3	27.9									
3 金属のイオンへのなりやすさ	中3	28.9									
4 電池のしくみ	中3	42.0									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、正答率が64.8%と低い。基本的な知識の定着が十分に図られていないと考えられる。 中間I小問2は、正答率が24.9%と低く、混合物を加熱した際の温度変化について理解ができていないことがうかがえる。 中間I小問3(2)は、正答率が24.3%であった。データから資料を読み取る力を養いたい。 中間II小問1は、正答率が48.2%と低く、金属の性質について基本的な内容の定着が図られていない。 中間II小問2は、正答率が27.9%と低かった。係数やイオン式を正しく理解していないことがうかがえる。 中間II小問3は、正答率が28.9%と低かった。「電子」や結論の記載がない回答が見られた。実験結果をもとに考察し、考えを正しく表現する力を身に付けたい。 											
4 生命領域の問題		64.2									
I 1 葉緑体	中2	87.1 ☆									
2 気孔	中2	78.2									
3 (1) 実験の方法	中2	32.0									
(2) 光合成の実験の考察	中2	80.9									
II 1 シダ植物	中1	72.6 ☆									
2 (1) 単子葉類と双子葉類	中1	65.0									
(2) 植物の分類	中1	51.8									
3 分解者	中3	62.7									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1、2は、正答率が80%前後と高い。植物の細胞に関する基本的な内容の定着は図られていると考えられる。 中間I小問3(1)は、正答率が32.0%と低い。授業の中で、実験について、対照実験の意味や内容をよく理解しておきたい。 中間I小問3(2)は、正答率が80.9%と高かった。実験結果からよく考察できている。 中間II小問2は、正答率が(1)は65.0%、(2)は51.8%であった。(2)は「B」の誤答が多く見られた。 中間II小問3は、正答率が62.7%であった。植物の分類の基準について正しく理解し、思考する力を身に付けたい。 											
5 エネルギー領域の問題		48.0									
I 1 回路に流れる電流	中2	26.3									
2 抵抗器が消費する電力	中2	43.2									
3 電流がつくる磁界の作図	中2	34.3									
4 電流がつくる磁界	中2	36.1									
II 1 小球にはたらく力の作図	中3	31.6									
2 エネルギーの変換	中3	89.1 ☆									
3 小球がもつ位置エネルギー	中3	77.8									
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、正答率が26.3%と低く、回路に流れる電流について正しく理解できていないことがわかった。 中間I小問3は、正答率が34.3%と低い。実験について、目的をおさえたいうえで、結果について考察する時間を充分とりたい。 中間II小問1は、正答率が31.6%であった。作用点を正しくかけていない回答や垂直抗力をかいていない回答が見られた。 中間II小問2は、正答率が89.1%と高かった。エネルギーの変換に関する基本的な知識の定着は図られていると考えられる。 中間II小問3は、正答率が77.8%と高かった。小球がもつ位置エネルギーについて、実験の結果から正しく考察できている。 											

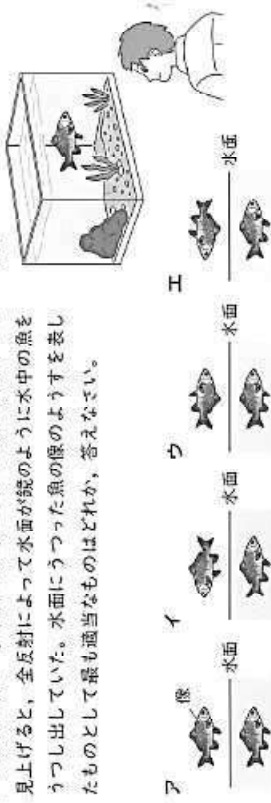
(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆ :目安点対象の要素を含むの意。

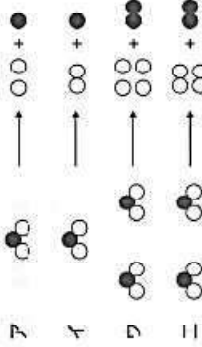
2) 理科の問題

1 次の各問いに答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。

1 水族館に行つて、図1のように水そうの魚を斜め下から見上げると、全反射によつて水面が鏡のように水中の魚をうつし出していた。水面にうつつた魚の像のようすを表したもつとして最も適当なものはどれか、答えなさい。



2 水の分子を分解すると水素の分子と酸素の分子ができる。この化学変化をモデルで表したもつとして最も適当なものはどれか、答えなさい。ただし、○は水素原子1個を、●は酸素原子1個を表すものとする。



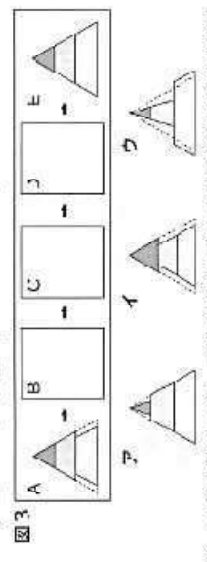
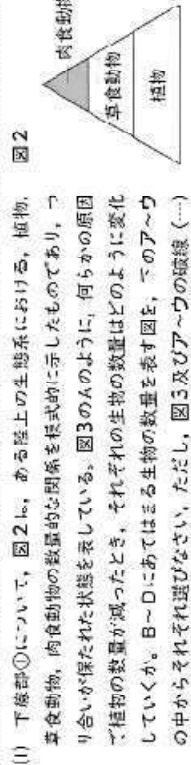
3 動物では、受精卵が体細胞分裂を始めてから自分で食物をとり始める前までの個体を何といふか、答えなさい。

4 マグネシウム1.2gを空气中で加熱し、完全に酸素と反応させると、2.0gの酸化物が生じた。マグネシウム3.0gを空气中で加熱し、完全に酸素と反応させたとき、反応する酸素の質量は何gか、答えなさい。

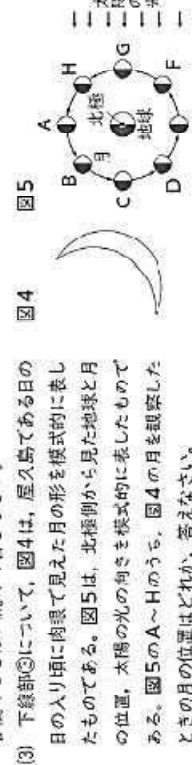
5 リクさんとあいさんは、屋久島に行つて学んだことや調べたことをぶまえて先生と話をしている。

先生：屋久島に行つたときに印象に残っていることは何かありますか。
 リク：屋久島には樹齢1000年を超えた屋久杉をはじめ、さまざまな植物や動物が生息していることが印象に残っています。
 先生：そうですね。屋久島は世界的にめづらしい生態系があり、世界自然遺産に登録されていますね。
 あい：私が滞在した間の天気は雨の日が多く、なぜ雨が多いのが疑問に思ひ調べたところ、屋久島には霧高の高い山があることがその原因の一つであることがわかりました。

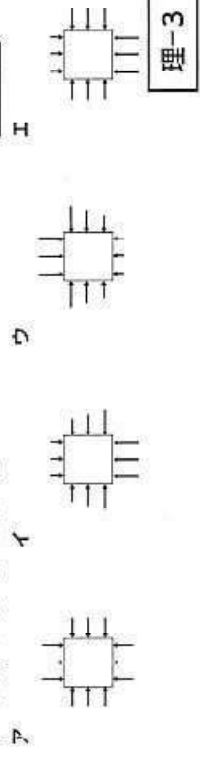
先生：黒潮が多くの水蒸気をもたらすことも原因の一つですね。
 リク：私は昨れた日に屋久島で月の観察をしたことも印象に残っています。雲一つない夜空に輝く月と星がとてもしきれいでした。
 あい：私が家族で行つたときには海水浴をして楽しみました。家族は池にもぐつて魚の観察をして楽しんでいました。
 先生：自然豊かな屋久島についてさらに深く調べてみましょう。



(2) 下線部②について、標高の高い山があると雨が多くなる理由を、雲のでき方に着目して解答欄のことばに続けて書きなさい。



(4) 下線部④について、物体が水中にあるとき、あらゆる方向から水圧がはたらく。図6は水中に物体が静止しているようすを模式的に示したものである。この物体にはたらく水圧のようすを表したもつとして最も適当なものはどれか、答えなさい。ただし、矢印の向きは水圧のはたらく向き、矢印の長さは水圧の大きさを表しており、矢印はかかれていないものとします。



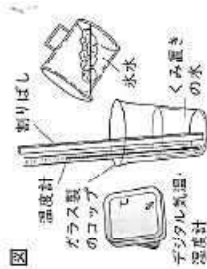
理-3

理-2

(2) 理科の問題

Ⅱ いちかさんは、学校の近くに

ある夏の日に帰宅したあきらさんは、冷たい麦茶を注いだコップの外側に水滴が生じていることに気づき、学校で行った温度を求める実験を思い出した。そこで、自宅にある温度計とガラス製のコップ、氷水、割りばし、デジタル気温・湿度計を用いて同じ実験を行った。ただし、温度計とデジタル気温・湿度計は正確であるものとする。



- ① 室内の気温は 28℃ であった。
 - ② 図のように、ぐみ置きの水を入れたガラス製のコップに、割りばしでかき混ぜながら少しずつ氷水を加えた。
 - ③ コップの表面に水滴がつき始めたときの水温を記録して、湿度を求めた。
- 表は、教科書にある気温ごとの飽和水蒸気量の値をまとめたものである。

気温 [℃]	16	18	20	22	24	26	28	30
飽和水蒸気量 [g/m ³]	13.6	15.4	17.3	19.4	21.8	24.4	27.2	30.4

- 1 空気中の水蒸気が凝結し始めるときの温度を何というか、答えなさい。
- 2 コップの表面に水滴がつき始めたときの水温は 22℃ であった。このときの水温を空気中の水蒸気が凝結し始める温度として求めた部屋の湿度は何%か。小数第 2 位を四捨五入して答えなさい。
- 3 次は、実験の後の、あきらさんと先生の会話である。□ にあてはまることをばを書きなさい。

あきら：部屋のデジタル気温・湿度計を確認したところ、湿度は 80.0% でしたが、実験で求めた湿度はこの値よりも低くなりました。これはなぜでしょうか。

先生：学校で行った実験では、コップの表面が氷の温度と同じになるように、金属製のコップを叩きましたね。

あきら：実験では、ガラス製のコップの表面が氷の温度と同じになっていなかったというのでしようか。

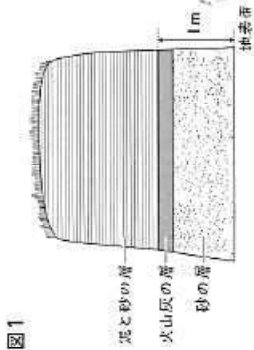
先生：そうですね。このような結果になるのは、ガラス製のコップと金属製のコップでどのような違いがあるためだと思いますか。

あきら：ガラスは金属に比べて□ からだと思います。

先生：そのとおりです。実験に用いる器具の選び方にも注意が必要ですね。

- 4 実験の後にエアコンの除湿機能を作動させたところ、室内の気温と湿度はそれぞれ 28℃、80.0% から 26℃、50.0% に変化した。エアコンにより室内の空気が取り除かれた水蒸気の量は何か、答えなさい。ただし、室内の空気の体積は 50 m³ で、空気の入れ替わりはなかったものとする。

理-4



Ⅱ いちかさんは、学校の近くに

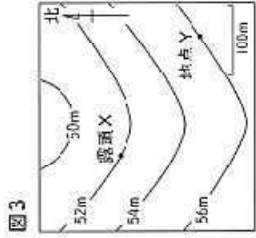
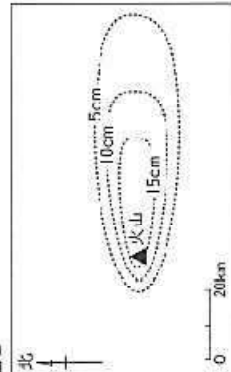
ある夏の日に帰宅したあきらさんは、冷たい麦茶を注いだコップの外側に水滴が生じていることに気づき、学校で行った温度を求める実験を思い出した。そこで、自宅にある温度計とガラス製のコップ、氷水、割りばし、デジタル気温・湿度計を用いて同じ実験を行った。ただし、温度計とデジタル気温・湿度計は正確であるものとする。

- 1 いちかさんは、採集した火山灰に含まれる鉱物の観察を行った。
- 観察の方法
- ① 麥茶皿に、少量の火山灰を入れる。
 - ② 水を加えて、指先で軽くおし洗ひし、にごった水を流す。水がきれいになるまでくり返す。
 - ③ 残った粒をペトリ皿に移して乾燥させる。
 - ④ 双眼実体顕微鏡で粒の色や形を観察する。

- (1) ②の操作を行う理由を答えなさい。
 - (2) 観察した鉱物の中に、黒っぽく細長い柱状の粒が見られた。この鉱物として適当なものどれか、答えなさい。
- ア 石英 イ 黒雲母 ウ 長石 エ 角閃石

- 2 いちかさんは、採集した火山灰について博物館で調べたところ、次のことがわかった。

- ① 採集した火山灰は、学校から 10 kmほど離れた火山から 8000 年前に噴出した。
- ② 噴出した火山灰は、一平をとおして中緯度地域の上空をふく風に流されて、図 2 のように堆積した。数値は降り積もった火山灰のおよその厚さを表している。
- ③ いちかさんの学校周辺は、8000 年前は傾きのない平らな土地で、その後も地層が傾くような地殻変動はなかった。



- (1) 下線部の風の名称を答えなさい。
- (2) 図 3 は、学校周辺の地域の標高と、火山灰を採集した露頭 X の位置を表したものである。地点 Y では地面を何 m 掘れば露頭 X で見られた火山灰の層と同じ火山灰の層を観察できるか答えなさい。

理-5

(2) 理科の問題

II あつしさんは、金属は種類によってイオンへのなりやすさにちがいがあがあることを学んだ。その後、授業の中で、亜鉛、マグネシウム、銅のイオンへのなりやすさを調べるために、次の実験を行った。

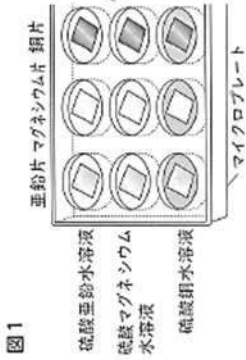


図1

実験
3種類の金属片(亜鉛、マグネシウム、銅)と、3種類の水溶液(硫酸亜鉛水溶液、硫酸マグネシウム水溶液、硫酸鉛水溶液)を準備し、図1のように、マイクプロプレートの縦の列に同じ種類の金属片を、横の列に同じ種類の水溶液を入れ、表は金属片の変化を調べてまとめたものである。ただし、金属片の表面に固体が付着したときは「○」、変化がなかったときは「-」で表すものとする。

表	亜鉛片	マグネシウム片	銅片
硫酸亜鉛水溶液	-	○	-
硫酸マグネシウム水溶液	-	-	-
硫酸鉛水溶液	○	○	-

1 金属に共通した性質として適当なものはどれか、すべて答えなさい。

A 磁石につく。 I 引く張ると細かくとびる。
ウ みがくと光る。 E たたくと細かくとびる。

2 硫酸銅水溶液にマグネシウムを入れたときに、マグネシウムが水溶液中にとけ出す反応をイオンの化学式を用いて表しなさい。ただし、電子は「e⁻」を使って表すものとします。

3 表から、亜鉛、マグネシウム、銅のうち最もイオンになりやすいものはどれか。表の結果をもとに、「電子」ということばを使って、そのように考えた理由もふくめて説明しなさい。

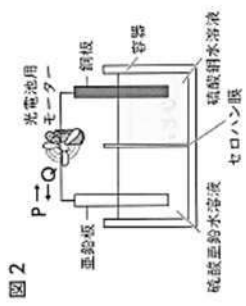


図2

4 図2の様式図のように、容器の中をセロハン膜で仕切り、一方に硫酸亜鉛水溶液を、もう一方に硫酸銅水溶液を入れ、硫酸亜鉛水溶液には亜鉛板を、硫酸銅水溶液には銅板を入れて光電池用モーターをつないだところ、モーターが回転した。このときの、電流が流れる向きは図2のP、Qのどちらか。また、硫酸亜鉛水溶液中の亜鉛イオンの数はどのように変化するか。最も適当な組み合わせを答えなさい。

	電流が流れる向き	亜鉛イオンの数
A	P	増加する
I	P	減少する
ウ	Q	増加する
E	Q	減少する

3 次のI、IIの各問いに答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
I ひかりさんとあおいさんは、鹿児島県の名産品である焼酎はエタノールの濃度を高めるために蒸留を行ってつくっていることを知った。そこで、蒸留によってエタノールの濃度が高くなることを調べるために、次の実験を行った。

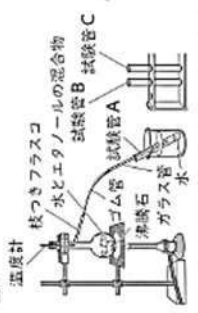
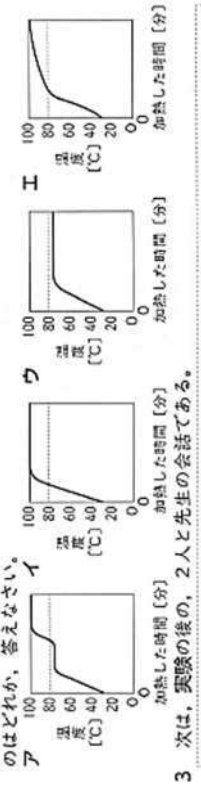


図1

実験 ① 水を45.0gとエタノールを5.0g入れた混合物を枝つきフラスコに入れ、図1のような装置を組み立てた。
② 混合物を加熱し、ガラス管から出てきた液体を試験管A～Cの順に5.0cm³ずつ集めた。蒸留によって水とエタノールを分けて取り出すことができるのは、水とエタノールの何のちがいを利用しているからか、答えなさい。
2 水とエタノールの混合物を加熱したときの温度の変化を示したグラフとして最も適当なものはいずれか、答えなさい。



3 次のI、IIの各問いに答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
I ひかりさんとあおいさんは、鹿児島県の名産品である焼酎はエタノールの濃度を高めるために蒸留を行ってつくっていることを知った。そこで、蒸留によってエタノールの濃度が高くなることを調べるために、次の実験を行った。

実験 ① 水を45.0gとエタノールを5.0g入れた混合物を枝つきフラスコに入れ、図1のような装置を組み立てた。
② 混合物を加熱し、ガラス管から出てきた液体を試験管A～Cの順に5.0cm³ずつ集めた。蒸留によって水とエタノールを分けて取り出すことができるのは、水とエタノールの何のちがいを利用しているからか、答えなさい。
2 水とエタノールの混合物を加熱したときの温度の変化を示したグラフとして最も適当なものはいずれか、答えなさい。

3 次のI、IIの各問いに答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
I ひかりさんとあおいさんは、鹿児島県の名産品である焼酎はエタノールの濃度を高めるために蒸留を行ってつくっていることを知った。そこで、蒸留によってエタノールの濃度が高くなることを調べるために、次の実験を行った。

実験 ① 水を45.0gとエタノールを5.0g入れた混合物を枝つきフラスコに入れ、図1のような装置を組み立てた。
② 混合物を加熱し、ガラス管から出てきた液体を試験管A～Cの順に5.0cm³ずつ集めた。蒸留によって水とエタノールを分けて取り出すことができるのは、水とエタノールの何のちがいを利用しているからか、答えなさい。
2 水とエタノールの混合物を加熱したときの温度の変化を示したグラフとして最も適当なものはいずれか、答えなさい。

3 次のI、IIの各問いに答えなさい。答えを選ぶ問については記号で答えなさい。
I ひかりさんとあおいさんは、鹿児島県の名産品である焼酎はエタノールの濃度を高めるために蒸留を行ってつくっていることを知った。そこで、蒸留によってエタノールの濃度が高くなることを調べるために、次の実験を行った。

実験 ① 水を45.0gとエタノールを5.0g入れた混合物を枝つきフラスコに入れ、図1のような装置を組み立てた。
② 混合物を加熱し、ガラス管から出てきた液体を試験管A～Cの順に5.0cm³ずつ集めた。蒸留によって水とエタノールを分けて取り出すことができるのは、水とエタノールの何のちがいを利用しているからか、答えなさい。
2 水とエタノールの混合物を加熱したときの温度の変化を示したグラフとして最も適当なものはいずれか、答えなさい。

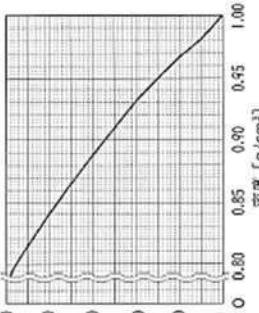


図2

(1) 会話文中の「a」にあてはまる数値を答えなさい。
(2) 図2は、先生が示した水とエタノールの混合物の密度と混合物にふくまれるエタノールの質量パーセント濃度の関係を示したグラフである。会話文中の「b」にあてはまる記号を、A～Cの中から選び、記号で答えなさい。また、「c」にあてはまる数値を整数で答えなさい。

表

試験管	A	B	C
質量 [g]	4.20	4.60	4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

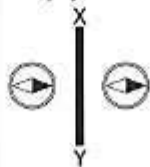
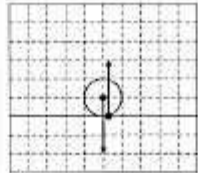
表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

表
試験管 A B C
質量 [g] 4.20 4.60 4.85

(3) 理科の解答例

大問	配点	中間	小問	解答例
1	18点		1	ウ
			2	エ
			3	匠
			4	2.0 [g]
			5(1)	B イ C ウ D ア
			(2)	(水蒸気をふくむ空気が、)山の斜面にぶつかって上昇して雲がでるから。
			(3)	H
			(4)	I
2	18点	I	1	露点
			2	71.3 [%]
			3	熱を伝えにくい
			4	478 [g]
		II	1(1)	植をばらばらにし、小さな泥などを取り除き、観察しやすくするため。
			(2)	エ
			2(1)	偏西風
			(2)	3 [m]
3	18点	I	1	沸点
			2	エ
			3(1)	10
			(2)b	A
			c	80
		II	1	イ、ウ
			2	$Mg \rightarrow Mg^{2+} + 2e^{-}$
			3	亜鉛とマグネシウムが電子を放出して、それぞれ亜鉛イオンとマグネシウムイオンになり、その電子を銅イオンが受けとって銅が附着したことから、銅が最もイオンになりにくい。
			4	ウ
4	18点	I	1	葉緑体
			2	気孔
			3(1)a	F
			b	呼吸
			(2)	ア
		II	1	シダ植物
			2(1)	単子葉類
			(2)	C
			3	農作物 シイタケ 記号 エ
5	18点	I	1	イ → ア → ウ
			2	3.2 [W]
			3	
			4	ア
		II	1	
			2	運動
			3	ウ

10 英語について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(英語)

問	題	内	容	学年	正 答 率															
					0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 %					
1			放送による聞き取りテスト		64.6															
	1		対話の内容に合う絵を選択する問題	中1	99.6															☆
	2		対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中1	67.6															☆
	3		対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中2	84.0															
	4		対話を聞いて、概要を捉える問題	中1	47.4															
	5		スピーチを聞いて、概要を捉える問題	中2	93.2															☆
	6		説明を聞いて、必要な情報を聞く英文を選択する問題	中3	65.6															
	7		スピーチを聞いて、話の要点を捉える問題	中3	21.3															
	8		対話を聞いて、英語の質問に対する答えを英語で書く問題	中2	37.7															
<ul style="list-style-type: none"> 大問1は、「聞くこと」に関する問題を出題した。「聞くこと」の理解力をみる小問や、対話や説明に関する英語の問いを聞き取り、英語で解答する小問、さらに登場人物の立場となって対話の流れに沿った発言を考えて書く小問を出題した。 「聞くこと」の理解力をみる問題(小問1、2、3)の正答率は高かったが、聞いたことに関して英語や英文で書いて解答する問題(小問7、8)は昨年度より正答率は上昇したものの、依然として低い。聞くことに関する思考・判断・表現を評価する問いの正答数が少なかった。 授業では、生徒が英語で積極的に話したり聞いたりする言語活動や英語特有の音声や綴りと発音の関係に習熟する練習を多く取り入れた。特に、目的や場面、状況を生徒に意識させて、文脈や使用場面に応じて、適切にコミュニケーションを図れるかどうかを確認しながら、指導したい。 聞き取った内容に関して自らの考えや意図を適切に表現できるよう、基本的な語いや英文を身に付けさせたい。 																				
2			適切な表現力をみる問題		43.2															
	1	①	対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中1	92.0															☆
		②	対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中1	72.4															☆
	2	①	文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中1	62.2															
		②	文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中2	33.7															
		③	文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中3	24.8															
	3	(1)	文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中1	27.0															
		(2)	文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中3	26.7															
		(3)	文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中3	31.3															
	4		イラストに従って、時系列にまとまりのある英文を書く問題	中3	40.9															
	5		図を参考に、自分の意見を英語で書く問題	中3	35.4															
<ul style="list-style-type: none"> 大問2は、表現の領域に関する問題を出題した。口語表現やコミュニケーションの目的を果たすための文法事項や基本的な語句の知識・技能が身に付いているかどうかを問うた。また、与えられた条件に基づき、適切に英語を書いて伝えることができるかどうかをみる問題を出題した。正答率は、小問1は高かったが、小問2の②、③、小問3は低かった。 小問2は対話の流れと英語の定義を基に適切な語を書く問題である。授業では、基本的な語句について、その意味を英語で理解させたい。綴りの誤りで減点される場合もあるので、単語を正確に書く力も付けさせたい。 小問3はコミュニケーションの目的を達成するための文法力をみた。言語活動で、基本的な動詞の過去形(不規則変化)や疑問文がしつかり使えるよう表現に慣れ親しませたい。また、完了形や間接疑問等の文法知識を、使用場面を意識しながら、言語活動をとおして適切に活用させたい。 小問4は、イラストに従って、時系列にまとまりのある英文を書く問題を出題し、基本的な語句や表現を正しく用いて、書く内容を適切に表現する力をみた。自分の経験や出来事を述べることは、日常生活でよくあることであり、習熟させたい事項である。授業では、話の展開を示すつなぎ言葉を含めた語いや表現、文法等の定着を図り、出来事や経験、及びその感想等を表現する言語活動を豊富に取り入れた。 小問5は、登場人物の立場になって服を買うのにオンラインで買う場合と直接お店で買う場合のどちらが良いと考えるか、英語で表現する特徴的な問題であった。図を利用して、英語で十分な表現を用いて解答しているものから、白紙や具体性のないものなど解答は多岐に渡っていた。授業では読んだり聞いたりした内容について自分の考えや意見を書く活動を取り入れて、正確さや流ちょうさを高めつつ、まとまりのある文章を書く力を付けさせたい。 																				
3			英文の概要や要点を正確に把握する問題		45.6															
	I	1	文脈に沿って、空所を補って英文を完成する問題	中2	74.4															☆
		2	文脈に沿って、英文の空所を補う適切な英文を選ぶ問題	中2	49.3															
		3	文脈に沿って、空所を補って英文を完成する問題	中2	23.6															
	II	①	図表にある情報を整理し、対話文の空所を補う単語を選ぶ問題	中2	68.9															
		②	図表にある情報を整理し、対話文の空所を補う単語を選ぶ問題	中2	52.3															
		2	図表にある情報を整理し、文脈に沿って対話文の空所に適切な英語を書く問題	中2	18.8															
	III		英文の概要を答える問題	中3	42.5															
<ul style="list-style-type: none"> 大問3は、日常的な話題について、文脈に沿って内容を理解し、英語で記述する問題や図表等から詳細を読み取って答える問題から、概要を捉える力をみた。学習指導要領に沿って、思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題した。 中間Iの3は正答率が低かった。解答に必要な情報を読みとり、文脈に沿って適切に表現する力を付けさせたい。また代名詞が何を指しているのか意識した指導も行いたい。中間IIは、図表と対話から必要な情報を読み取り答える問題、中間IIIは英文の概要を捉える問題であった。 授業では、教科書だけでなく、初めて扱う英文や図表から、書き手の意図を理解するのに必要となる要点や情報を読み取り、英文の概要を捉える活動を導入したい。また、教科書の内容を図表を用いて理解したり表現したりする活動も効果的である。さらに、自己表現活動等で、既習の言語材料を用いて表現する力を伸ばしたい。 																				
4			長文総合問題		36.2															
	1		概要を読み取る問題	中2	61.7															☆
	2		英文の情報を読み取り、適切な英語を書く問題	中3	22.0															
	3		英文の情報を読み取り、日本語で説明する問題	中3	41.2															
	4		英文の情報を読み取り、適切なグラフを選ぶ問題	中3	31.7															
	5		要点を読み取り、日本語で説明する問題	中3	27.7															
<ul style="list-style-type: none"> 大問4は、社会的な話題に関する発表原稿をとおして、使用したスライドやグラフを選ぶ問題や、本文を基に下線部の内容を読み取って英語で書く問題、要点を日本語で書く問題などを出題した。語数は昨年度と比較して増加した。 社会的な話題において、概要を読み取る力をみる小問1は正答率が高かった。下線部の内容を読み取り、英語で書く問題の小問2、まとまりのある文章から必要な情報を読み取る小問3、4は正答率が低かった。説明文、意見文、対話文、物語文などの文体、日常的な話題や社会的な話題の各話題に応じて、コミュニケーション上重要となる必要な情報や概要、要点を捉えられるよう、様々な読み方を指導したい。 小問5は、本文の内容を踏まえ、要点を日本語で説明する問題で正答率は低かった。授業中に概要・要約を捉える活動を行いたい。 																				

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆ :目安点対象の要素を含むの意。

(2) 英語の問題

6 留学中のあなたは、市立図書館で行われるボランティア活動に参加するため、David 先生からその説明を聞きます。あなたがホストファミリーに伝えなければならない情報は、集合時間、活動内容、屋敷、交通手段についてです。説明を聞いた後、不足している情報を David 先生にたずねるための質問として、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア Should we bring our lunch to the city library?
- イ What time should we arrive at the city library?
- ウ What will we do for the activity?
- エ How can we go to the city library?

7 これから、英語の授業で行った Eri の発表と、その内容に関する英語の質問を放送します。その質問の答えとなるように、() 内に入る適切な英語を書きなさい。

She ()

8 鹿児島に住んでいる Kana とアメリカに住んでいる Tom がオンラインで対話をしています。その中で、Tom が Kana に質問しています。Kana に代わって、その答えを英文で書きなさい。2文以上になってもかまいません。書く時間は1分間です。

1 聞き取りテスト 放送の指示に従って、次の1～8の問いに答えなさい。英語は1から5は1回だけ放送します。6以降は2回ずつ放送します。メモをとってもかまいません。

1 これから、Mika と Andy との対話を放送します。Andy が昨日の放課後にしていたこととして、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。



2 これから、Paul と Saori との対話を放送します。この後二人がすることとして、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 図書館で数学の宿題をする
- イ 図書館で理科の宿題をする
- ウ Saori の家で数学の宿題をする
- エ Saori の家で理科の宿題をする

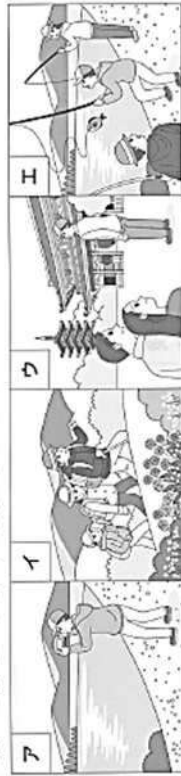
3 これから、Yuka と James との対話を放送します。二人が鑑賞する予定のコンサートの始まる時刻として、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 1時
- イ 1時15分
- ウ 1時30分
- エ 1時45分

4 これから、Nick と Mami との対話と、その内容に関する英語の質問を放送します。その質問の答えになるように、() 内に入る適切な英語1語を補って英文を完成させなさい。

He has his school trip in ()

5 これから、Daniel が家族旅行についての発表を行います。その内容について、下のア～エを行った順に並べかえ、その記号を書きなさい。



(2) 英語の問題

3 (1)~(3)について、下の【例】を参考にしながら、()内の語を含めて3語以上使用して、英文を完成させなさい。ただし、()内の語は必要に応じて形を変えてもかまいません。

【例】

< 教室で >
 A: What were you doing when I called you yesterday?
 B: (study) in my room. (答) I was studying

(1) < 教室で >

A: How long (sleep) last night?
 B: About 7 hours. I slept well.
 A: That's nice.

(2) < 友人と >

A: I visited the zoo yesterday. It was amazing.
 B: Nice. I really want to go and see many animals but (be) there yet.
 A: There are many kinds of animals, so I think you should go.

(3) < 公園で >

A: Can you see the man over there?
 B: Yes. Do you know (who)?
 A: He is my English teacher.

2 次の1~5の問いに答えなさい。
 1 次は、中学生のYumiと留学生のSamとの対話です。下の①、②の表現が入る最も適当な場所を対話文中のく ア >~く 工 >の中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

① Why don't we go there after school today? ② My favorite one is near Sakura Station.

Yumi: Sam, you said that you wanted to buy new shoes, right?
 Sam: Yes, but I don't know any good shops, Yumi. く ア > Do you have any ideas?
 Yumi: Yes. く イ > I always buy my shoes there.
 Sam: Oh, thank you. I really want new shoes for summer. く ウ >
 Yumi: Sorry, I have a lot of homework to do today. How about going there tomorrow?
 Sam: OK. Let's go there tomorrow.
 Yumi: That's fine. く 工 > I want new ones for running, too.

2 次は、中学生のRyotaと留学生のAmyとの対話です。対話文中の(①)~(③)に、下の()内の【説明】が示す英語1語をそれぞれ書きなさい。

Ryota: Amy, I will go to a new music shop on August 1. Do you want to go there with me?
 Amy: Is that (①)? I'm sorry, but I can't. I have a piano class on that day every week. How about the next day?
 Ryota: On Friday? Oh, sorry I'm going to join an English event because I want to talk with many (②) people, and learn many things from them.
 Amy: Sounds interesting. I'm not (③) on that day. Can I join you?
 Ryota: Sure. I will call you later.

【説明】

- ① the day that comes before Friday
- ② from a country that is not yours
- ③ having many things to do

(2) 英語の問題

3 次のⅠ～Ⅲの問いに答えなさい。

Ⅰ 次の英文を読み、あとの問いに答えなさい。

Jane is a member of the soccer club at her school. She likes soccer very much, but last month in a game, she couldn't play well, and her team lost. After that, she started to think that she was not a good player.

One day, her friend, Emma, talked to her. Emma said, "Don't (①) so much, Jane. We just need to practice more. I know we can do it." Jane felt a little better and said, "Thank you, Emma. I'll try again."

Jane and Emma practiced hard for their next game with their team members. One week later, Jane was a little afraid before the game, but Emma said, "We practiced hard every day, Jane. Let's enjoy the game. We can do it." The game started. (②) Everyone played hard and her team won the game. Jane thought, "What a good friend she is!"

However, a few days later, Emma hurt her leg. She was sent to the hospital and the team lost the next game. After the game, Jane visited Emma in the hospital. Jane said, "I practiced hard every day, but I couldn't win. If you aren't in our team, I can't play well." Emma said, "Don't give up. If you continue to practice soccer hard, you can win without me." Jane thought, "I was too afraid, but Emma believes in me." Jane practiced soccer hard for the next game. She wanted to play well for Emma.

The next week, Jane's team had a game. The game was exciting. In the last three minutes, Jane and her team members played very well and got one point. Finally her team won. After the game, Jane visited Emma and said, "We won." Emma smiled and said, "You did it. Do you know why? Because (③)." Jane was happy to hear that.

注 lost 負けた hurt ～にけがをした give up あきらめる
believe(s) in ～を信用する

1 (①)に入る最も適当なもの下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

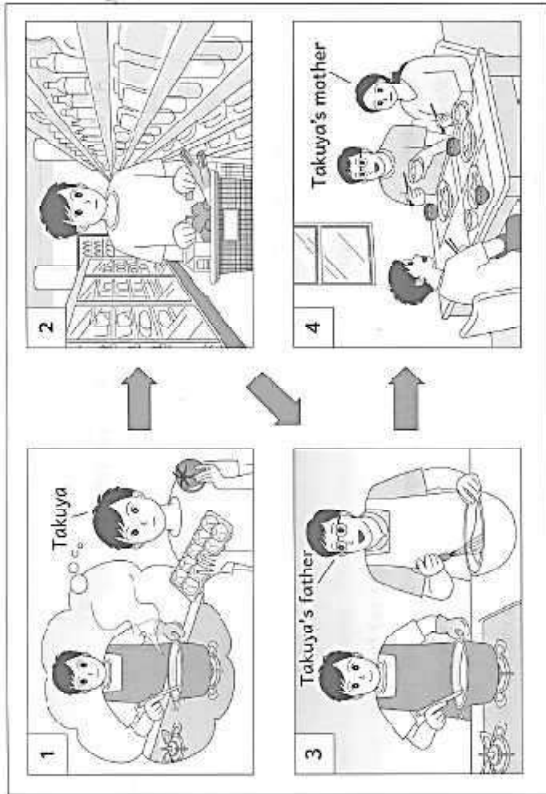
ア develop イ play ウ follow エ worry

2 (②)に入る最も適当なもの下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア Emma was right.
イ Jane was right.
ウ Emma was angry.
エ Jane was angry.

3 (③)に入る適切な英語を6語で書きなさい。

4 次のイラストは、中学生のTakuyaの昨日の出来事を描いたイラストです。Takuyaになったつもりで、イラストに合うように、一連の出来事を順番の書き出しに続けて30～40語の英語で書きなさい。英文の数は問いません。



5 英語の授業で、ALTのSmith先生から次のような質問をされました。<質問>に対するあなたの考えを、理由も含めて、20語程度の英語で書きなさい。2文以上になってもらえます。なお、下の【図】はSmith先生がみんなの意見を聞いて黒板に書いたものです。【図】に示した語を使ってよいこととします。

<質問>

When you want to buy clothes, which do you like better, buying them in a store or on the internet?



II 次は、ショッピングモール(shopping mall)内にある映画館の上映スケジュールの案内と、それを見ているBethと留学中のTakashiの対話です。二人の対話を読み、あとの問いに答えなさい。

Movie Day

You can watch two movies with one ticket* today!

<p>☆ <i>Green City</i> Time: ① 11:00 a.m. - 1:15 p.m. ② 3:00 p.m. - 5:15 p.m.</p>	<p>☆ <i>Our Goal</i> Time: ① 11:00 a.m. - 1:50 p.m. ② 4:00 p.m. - 6:50 p.m.</p>
<p>☆ <i>Cold Night</i> Time: 1:30 p.m. - 3:15 p.m.</p>	<p>☆ <i>Best Memory</i> Time: 4:30 p.m. - 6:20 p.m.</p>

You can get a 10% off lunch at the restaurant with a movie ticket.

Beth: Look, Takashi. There is a special event in this movie theater.

Takashi: Oh, great! Let's go.

Beth: Sure! We can choose two movies. Which do you want to see?

Takashi: I want to see *Green City* or *Best Memory*. I'm also interested in *Cold Night*.

Beth: I see. I'm interested in *Cold Night*, too. Let's see that one.

Takashi: OK. We can choose one more movie.

Beth: *Our Goal* looks interesting, but it is too long for me.

Takashi: I think so, too. Then, let's choose a different one.

Beth: It's 10:45 a.m., so (①) will start soon. We need to buy tickets quickly.

Takashi: Yeah, but after watching it, *Cold Night* will start soon. We don't have time for lunch.

Beth: That's not great. Then, we should choose (②), right?

Takashi: Yes. Let's get our tickets now. We have some time after that, so let's have lunch at our favorite restaurant here before our first movie.

Beth: Yes, I'm happy because the lunch will be (③) than usual* with our tickets!

Our usual 1000 yen lunch will be 900 yen!

注 ticket(s) チケット usual いつもの

1 (①)・(②)に入る最も適当なものを下のア～エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

ア *Green City* イ *Our Goal* ウ *Cold Night* エ *Best Memory*

2 (③)に入る最も適切な英語1語を書きなさい。

(2) 英語の問題

III 次は、中学3年生のAkiraが、英語の授業で発表した英語スピーチと、それを聞いた直後のRob先生とYukiとの対話です。英文と対話を読み、()内に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

Hello, everyone. I want to talk about songs from Amami. My grandmother is from Amami City. She lives with me and my parents in Kagoshima City now. She often tells me about her life in Amami. She says that people there love to sing island songs. My grandmother sings island songs when she is cooking or cleaning. Her voice is gentle* and I like to listen to her. One day, I asked her, "Why do you like island songs?" She said, "Because they tell us how we lived." I thought that was wonderful. I wanted to learn more.

This year my grandmother taught me some songs. It was not easy, but I practiced many times, and now I can sing them well. Sometimes, my grandmother says, "You are a good singer." That makes me very happy. Someday, I want to visit Amami to know more about its life and culture and sing songs with the people there.

注 gentle 優しい

Rob: Thanks, Akira. Yuki, what is the main topic?

Yuki: It is about ().

Rob: That's right.

ア his experiences in Amami イ how to sing island songs well
ウ what he learned from his grandmother エ life in Amami long time ago

高校生の Rika はフードロス(food loss)についてスーパーマーケット(supermarket)での職業体験とその後に行った調査(survey)をもとに英語の授業で発表しました。英文を読み、あとの問いに答えなさい。

Hello, everyone. Today ①I'd like to talk about food loss for my presentation*. In July, I worked at a supermarket, for two days as my work experience. I learned and thought about food loss there. I'll tell you about my experience at the supermarket, show you some facts about food loss and talk about what we have to do for food loss.

On the first day, I went to the supermarket with 5 other students. A staff member, Mr. Nakamura told us about ②that day's work, and showed us around the supermarket. He was very kind. We also talked about our school life. In the afternoon, we had to clean the store together. At the end of the first day, he said, "I'll give you another thing to do tomorrow."

The next day, he asked us to put discount stickers* on some food. I thought that it was for selling more food. When I was putting the discount stickers on the food, Mr. Nakamura talked to me. He said, "You are doing a good thing for the environment." I didn't know why it was good for the environment. So, I used the internet to find information after the work experience. This gave me a chance to think about food loss.

Here are the things I found on the internet. I found there was about 4.6 million tons* of food loss in Japan in 2023 and about 10% of it came from stores such as supermarkets and convenience stores. Next, supermarkets are doing many things to reduce food loss. The discount stickers are an example of them. Supermarkets also ask people to take food from the front. I was very surprised to find so many things are done to reduce food loss in stores. I became more interested in food loss and wanted to do something for this problem. So, I decided to do a survey about food loss. I made three questions for my friends. First, "Are you interested in food loss?" Second, "Are you doing something about food loss?" Third, "If you say yes, what are you doing to reduce it?" I also asked my friends to ask people they know to answer the questions. Please look at ③this graph*. These are the results of my survey. About 80% of people know about the food loss problem. For the second question, 75% of them answered yes. More than half of them eat everything on their plate*. About 70% of them think of how much food they need before shopping. Only some people try to be careful about expiration dates*. I was happy to know that so many people are doing things about this problem.

Finally I want to tell you two things. First, a lot of people have started to do something about food loss. I want you to take small actions for this problem, too. Second, even ideas that don't sound special can be useful. We should think about new ideas that we can try. Thank you for listening.

※ presentation プレゼンテーション discount sticker(s) 割引シール ton(s) トン(重量の単位)
graph グラフ plate 皿 expiration date(s) 消費期限

(2) 英語の問題

1 次は、下線部①で Rika が見せたスライドです。Rika が話した内容の順になるように、スライドの I ~ III に入る最も適当なものを下のア~ウの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

Today's Presentation

1. I

2. II

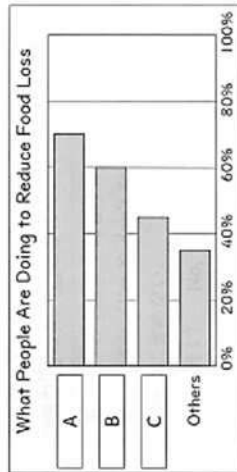
3. III

- ア The Facts about Food Loss
- イ Something We Have to Do for Food Loss
- ウ My Experience at a Supermarket

2 下線部②を具体的に表す語句になるように、()に入る最も適切な英語1語を書きなさい。
to () the supermarket

3 スーパーマーケットがフードロスに対して行っている具体的な取り組みを本文から二つ読み取り、日本語で答えなさい。

4 次は、下線部③で見せた【グラフ】です。【グラフ】の A ~ C に入るもの組み合わせとして、最も適当なものを下のア~エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。
【グラフ】



	A	B	C
ア Finish all the food on their plate	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
イ Don't buy too much food	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ウ Finish all the food on their plate	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エ Don't buy too much food	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

5 Rika が聞き手に取り組んでほしいことを 50 字程度の日本語で書きなさい。

(3) 英語の解答例

大問	配点	中問	小問	解答例
1	24点	3点 3点 3点 3点 3点 3点 3点 3点	1 2 3 4 5 6 7 8	イ ア ウ October イ → エ → ア → ウ エ enjoys talking about the town's history You should visit Sakurajima. You can see beautiful nature there.
2	28点	2点×2 2点×3 2点×3 8点 4点	1 2 3 4 5	① ウ ② イ ① Thursday ② foreign ③ busy (1) did you sleep (2) I haven't been (3) who he is Yesterday, I decided to cook dinner for my family. I went to a shop to buy some food. My father helped me cook it. When my parents ate the dinner, they looked happy. I was happy, too. (36 words) I like buying clothes in a store. I can ask a staff member questions and choose the best thing for myself. (21 words)
3	17点	2点 3点 3点 2点×2 2点 3点	I 1 2 3 II 1 2 III	エ ア you continued to practice soccer hard ① ア ② エ cheaper ウ
4	21点	3点 3点 6点 3点 6点	1 2 3 4 5	I ウ II ア III イ clean 割引シールを貼ること。 商品を手前から取るようにお願いすること。 イ フードロス解決のために、何か行動を起こすことと、私たちが取り組むことができる新しい案を考えること。(49字)